



誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

令和6年度

国営土地改良事業地区調査

南薩地区耐震対策検討その他業務

積 算 書

(当初)

九州農政局
南部九州土地改良調査管理事務所

九州農政局

九州農政局

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

事業名	国営土地改良事業地区調査
業務名	南薩地区耐震対策検討その他業務

業務別業務名:耐震設計作業

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単 - 1号 ***					
S16001	ライバルン[ガリエンジン二輪駆動] ライバルン[ガリエンジン二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L,運転 1 日当たり算出		日		1,000 各単位	歩A 当たり算出
	1)機械コード 単位が時間のみ 2)機械コード (同上)	M28121 M28121		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	3)機械損料算出区分 4)運転 1 日当たり運転時間(T)	運転 1 日当たり算出 6.0時間		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	5)運転日に対する供用日の割合(YC)	1.19		深夜時間:0.0		
	6)単価計上区分	機械損料等のみ				
	7)岩石補正区分	岩石補正なし				
	10)燃料消費量(入力の場合)	0.0				
	11)消耗部品の計上の有無 13)消耗部品費の適用条件(2)	消耗部品を計上しない 消耗部品なし				
	14)名称(消耗部品) 15)規格(消耗部品)	- -				
M28121	ライバルン[ガリエンジン二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	1,000	日	2,410	2,410	
	合 計				2,410	算出数量 1,000 各単位
	単 価		各単位		2,410	
Y00001	単位					
	*** S単 - 2号 ***					
S63003	2.資料の検討		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数 2)技師長の人数	0.00人 0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数 4)技師 A の人数	1.50人 3.00人		深夜時間:0.0		
	5)技師 B の人数 6)技師 C の人数	2.00人 0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師	1,500	人	64,800	97,200	
R04004	技師 (A)	3,000	人	57,000	171,000	
R04005	技師 (B)	2,000	人	47,200	94,400	
	合 計				362,600	算出数量 1,000 式
	単 価		式		362,600	
	*** S単 - 3号 ***					
S63003	3-1.物性値の整理		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数 2)技師長の人数	0.00人 0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数 4)技師 A の人数	1.00人 3.00人		深夜時間:0.0		
	5)技師 B の人数 6)技師 C の人数	2.00人 1.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師	1,000	人	64,800	64,800	
R04004	技師 (A)	3,000	人	57,000	171,000	
R04005	技師 (B)	2,000	人	47,200	94,400	
R04006	技師 (C)	1,000	人	38,400	38,400	
	合 計				368,600	算出数量 1,000 式
	単 価		式		368,600	
	*** S単 - 4号 ***					
S63003	3-2.揚水機場(建屋)		式		1,000 式	歩A 当たり算出

事業名	国営土地改良事業地区調査
業務名	南薩地区耐震対策検討その他業務

業務別業務名:耐震設計作業

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	5.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師 A の人数	8.00人				
	5)技師 B の人数	18.00人				
	6)技師 C の人数	18.00人				
	7)技術員の数	0.00人				
R04003	主任技師					
		5.000	人	64,800	324,000	
R04004	技師 (A)					
		8.000	人	57,000	456,000	
R04005	技師 (B)					
		18.000	人	47,200	849,600	
R04006	技師 (C)					
		18.000	人	38,400	691,200	
	合 計				2,320,800	算出数量 1.000 式
	単 価		式		2,320,800	
	*** S 単 - 5号 ***					
S63003	4-1.耐震補強対策工法の構想設計		式		1.000 式	歩 A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	3.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師 A の人数	4.00人				
	5)技師 B の人数	6.00人				
	6)技師 C の人数	6.00人				
	7)技術員の数	7.00人				
R04003	主任技師					
		3.000	人	64,800	194,400	
R04004	技師 (A)					
		4.000	人	57,000	228,000	
R04005	技師 (B)					
		6.000	人	47,200	283,200	
R04006	技師 (C)					
		6.000	人	38,400	230,400	
R04007	技術員					
		7.000	人	33,600	235,200	
	合 計				1,171,200	算出数量 1.000 式
	単 価		式		1,171,200	
	*** S 単 - 6号 ***					
S63003	4-2.概算工事費算定		式		1.000 式	歩 A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師 A の人数	2.00人				
	5)技師 B の人数	2.00人				
	6)技師 C の人数	3.00人				
	7)技術員の数	0.00人				
R04003	主任技師					
		1.000	人	64,800	64,800	
R04004	技師 (A)					
		2.000	人	57,000	114,000	
R04005	技師 (B)					
		2.000	人	47,200	94,400	
R04006	技師 (C)					
		3.000	人	38,400	115,200	
	合 計				388,400	算出数量 1.000 式
	単 価		式		388,400	
	*** S 単 - 7号 ***					
S63003	5.施設の構想設計		式		1.000 式	歩 A 当たり算出

事業名	国営土地改良事業地区調査
業務名	南薩地区耐震対策検討その他業務

業務別業務名:耐震設計作業

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	2.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師 A の人数	3.00人				
	5)技師 B の人数	3.00人				
	6)技師 C の人数	5.00人				
	7)技術員の人数	6.00人				
R04003	主任技師					
		2.000	人	64,800	129,600	
R04004	技師 (A)					
		3.000	人	57,000	171,000	
R04005	技師 (B)					
		3.000	人	47,200	141,600	
R04006	技師 (C)					
		5.000	人	38,400	192,000	
R04007	技術員					
		6.000	人	33,600	201,600	
	合 計				835,800	算出数量 1.000 式
	単 価		式		835,800	
	*** S 単 - 8号 ***					
S63003	6.照 査		式		1.000 式	歩 A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	3.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師 A の人数	0.00人				
	5)技師 B の人数	0.00人				
	6)技師 C の人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師					
		3.000	人	64,800	194,400	
	合 計				194,400	算出数量 1.000 式
	単 価		式		194,400	
	*** S 単 - 9号 ***					
S63003	7.点検とりまとめ		式		1.000 式	歩 A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師 A の人数	2.00人				
	5)技師 B の人数	3.00人				
	6)技師 C の人数	3.00人				
	7)技術員の人数	2.00人				
R04003	主任技師					
		1.000	人	64,800	64,800	
R04004	技師 (A)					
		2.000	人	57,000	114,000	
R04005	技師 (B)					
		3.000	人	47,200	141,600	
R04006	技師 (C)					
		3.000	人	38,400	115,200	
R04007	技術員					
		2.000	人	33,600	67,200	
	合 計				502,800	算出数量 1.000 式
	単 価		式		502,800	
	*** S 単 - 10号 ***					
S63007	1.現地調査		式		1.000 式	歩 A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	

事業名	国営土地改良事業地区調査					
業務名	南薩地区耐震対策検討その他業務					
業務別業務名:耐震設計作業						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	3)主任技師の人数	2.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師 A の人数	3.00人				
	5)技師 B の人数	3.00人				
	6)技師 C の人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師					
	外業	2.000	人	64,800	129,600	
R04004	技師 (A)					
	外業	3.000	人	57,000	171,000	
R04005	技師 (B)					
	外業	3.000	人	47,200	141,600	
	合 計				442,200	算出数量 1.000 式
	単 価		式		442,200	
	*** S単 - 11号 ***					
S63007	基準日額 (現地調査)		式		1.000 式	歩 A 当たり算出
	設計労務 (直接人件費外業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)技師長 の人数	0.00人				
	3)主任技師 の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師 A の人数	1.00人				
	5)技師 B の人数	1.00人				
	6)技師 C の人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師					
	外業	1.000	人	64,800	64,800	
R04004	技師 (A)					
	外業	1.000	人	57,000	57,000	
R04005	技師 (B)					
	外業	1.000	人	47,200	47,200	
	合 計				169,000	算出数量 1.000 式
	単 価		式		169,000	
	*** S単 - 12号 ***					
S63010	打合せ (設計業務基準日額)		回		1.000 回	歩 A 当たり算出
	打合せ (設計業務基準日額)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.76日			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	日			深夜時間:0.0		
	1)設計工種	一般工種				
	2)打合せ	着手前・最終				
	3)設計用主任技師人数	1.00人				
	4)設計用技師 (A) 人数	1.00人				
	5)設計用技師 (B) 人数	0.00人				
	6)設計用技師 (C) 人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.760日				
R04003	主任技師					
		1.260	人	64,800	81,648	
R04004	技師 (A)					
		1.260	人	57,000	71,820	
	合 計				153,468	算出数量 1.000 回
	単 価		回		153,468	
	*** S単 - 13号 ***					
S63010	打合せ (設計業務基準日額)		回		1.000 回	歩 A 当たり算出
	打合せ (設計業務基準日額)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	一般工種,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.76日			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計工種	一般工種				
	2)打合せ	中間				
	3)設計用主任技師人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)設計用技師 (A) 人数	1.00人				
	5)設計用技師 (B) 人数	1.00人				
	6)設計用技師 (C) 人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.760日				
R04004	技師 (A)					
		1.260	人	57,000	71,820	

事業名	国営土地改良事業地区調査					
業務名	南薩地区耐震対策検討その他業務					
業務別業務名:耐震設計作業						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
R04005	技師（Ｂ）	1.260	人	47,200	59,472	
	合 計				131,292	算出数量 1.000 回
	単 価		回		131,292	
	*** S単 - 14号 ***					
S63017	旅費交通費（設計）現地調査		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	旅費交通費（設計外業宿泊用） 乙地,ライトバン,1.00日,2日,4時間,なし,100km L（100km以上）			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)宿泊地	乙地		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)交通機関区分	ライトバン		深夜時間:0.0		
	3)高速道路往復料金（税別）	7,980円				
	4)鉄道往復料金[全員分合算]（税別）	0円				
	5)バス往復料金[全員分合算]（税別）	0円				
	6)船舶往復料金[全員分合算]（税別）	0円				
	7)航空往復料金[全員分合算]（税別）	0円				
	8)往復移動日数	1.00日				
	9)ライトバン使用日数	2日				
	10)時間区分	4時間				
	11)補正区分	なし				
	12)技師長外業日数	0.000日				
	13)主任技師外業日数	2.000日				
	14)技師A外業日数	3.000日				
	15)技師B外業日数	3.000日				
	16)技師C外業日数	0.000日				
	17)技術員外業日数	0.000日				
	18)往復移動距離区分	100km L（100km以上）				
P54202	設計用主任技師日当 消費税抜き	2.000	人	1,182	2,364	
P54203	設計用技師（Ａ）日当 消費税抜き	2.000	人	1,000	2,000	
P54204	設計用技師（Ｂ）日当 消費税抜き	2.000	人	1,000	2,000	
P54002	設計用主任技師宿泊費 （乙地）消費税抜き（7級相当）	1.000	人	10,727	10,727	
P54003	設計用技師（Ａ）宿泊費 （乙地）消費税抜き（6級相当）	1.000	人	8,909	8,909	
P54004	設計用技師（Ｂ）宿泊費 （乙地）消費税抜き（4級相当）	1.000	人	8,909	8,909	
P54113	外業の滞在日額旅費3級相当以上 宿泊現地到着の翌日より29日目まで	1.000	人	8,354	8,354	
P54113	外業の滞在日額旅費3級相当以上 宿泊現地到着の翌日より29日目まで	2.000	人	8,354	16,708	
P54113	外業の滞在日額旅費3級相当以上 宿泊現地到着の翌日より29日目まで	2.000	人	8,354	16,708	
P54301	高速道路等料金 消費税抜き	1.000	式	7,980	7,980	
M28121	ライトバン[ガソリンエンジン 二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	2.000	日	1,960	3,920	
P34001	ガソリン JIS2号 レギュラースタンド	21.600	L	162	3,499	
	合 計				92,078	算出数量 1.000 式
	単 価		式		92,078	
	*** S単 - 15号 ***					
S63024	業務報告書作成（その他）		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	業務報告書作成（その他） 1,A-4以下,500,1,A-4以下,厚手（金文字入）			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)報告書焼付部数(部)	1		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)報告書規格区分	A-4以下		深夜時間:0.0		
	3)原稿枚数区分(枚)	500				
	4)表紙部数（部）	1				
	5)表紙規格区分	A-4以下				
	6)表紙区分	厚手（金文字入）				
P43422	報告書焼付代（コピー） A-4以下 500枚	1.000	部	6,750	6,750	
P43450	報告書表紙代 厚手（金文字入） A-4	1.000	部	5,250	5,250	
	合 計				12,000	算出数量 1.000 式
	単 価		式		12,000	

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

九州農政局

[illegible]

[illegible]

[illegible]

事業名	国営土地改良事業地区調査					単価一覧表 (1 / 2)
業務名	南薩地区耐震対策検討その他業務					
業務別業務名:耐震調査作業						
コード	名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
S02115	*** S単 - 1号 *** 運転手 (特殊)					
	運転手 (特殊)		人	28,800		歩A・単A
S16001	*** S単 - 2号 *** トラック[クレーン装置付]					
	トラック[クレーン装置付] ベ-ストトラック2t積 2.0t吊., 運転 1 時間当たり算出		時間	1,390		歩A・単A
S62031	*** S単 - 3号 *** 【機械ボーリング (地質調査用)】					
	【機械ボーリング (地質調査用)】 土質ボーリング (オール), 66,砂・砂質土,,50m以下,鉛直下方		m	17,900		歩A・単A
S62031	*** S単 - 4号 *** 【機械ボーリング (地質調査用)】					
	【機械ボーリング (地質調査用)】 土質ボーリング (オール), 66,礫混じり土砂,,50m以下,鉛直下方		m	34,700		歩A・単A
S62031	*** S単 - 5号 *** 【機械ボーリング (地質調査用)】					
	【機械ボーリング (地質調査用)】 岩盤ボーリング (オール), 66,,軟岩,50m以下,鉛直下方		m	34,400		歩A・単A
S62033	*** S単 - 6号 *** 【サウンディング及び原位置試験】					
	【サウンディング及び原位置試験】 標準貫入試験,砂・砂質土,		回	10,400		歩A・単A
S62033	*** S単 - 7号 *** 【サウンディング及び原位置試験】					
	【サウンディング及び原位置試験】 標準貫入試験,礫混じり土砂,		回	14,900		歩A・単A
S62033	*** S単 - 8号 *** 【サウンディング及び原位置試験】					
	【サウンディング及び原位置試験】 標準貫入試験,軟岩,		回	17,100		歩A・単A
S62036	*** S単 - 9号 *** 【足場仮設】					
	【足場仮設】 平坦地足場,高さ0.3m以下,50m以下		箇所	64,300		歩A・単A
S62037	*** S単 - 10号 *** 【準備及び跡片付け】					
	【準備及び跡片付け】		業務	277,000		歩A・単A
S62039	*** S単 - 11号 *** 調査孔閉塞					
	【その他間接調査費】 0箇所,1箇所,0箇所		業務	7,390		歩A・単A
S62040	*** S単 - 12号 *** 【資料整理とりまとめ (一般調査業務費)】					
	【資料整理とりまとめ (一般調査業務費)】 1,0		業務	71,760		歩A・単A
S63007	*** S単 - 13号 *** 設計労務 (直接人件費外業)					
	設計労務 (直接人件費外業)		式	243,600		歩A・単A
S63007	*** S単 - 14号 *** 設計労務 (直接人件費外業)					
	設計労務 (直接人件費外業)		式	121,800		歩A・単A
S63007	*** S単 - 15号 *** 設計労務 (直接人件費外業)					
	設計労務 (直接人件費外業)		式	119,200		歩A・単A
S63009	*** S単 - 16号 *** 調査労務 (直接人件費外業)					
	調査労務 (直接人件費外業)		式	126,100		歩A・単A
S65003	*** S単 - 17号 *** コンクリート強度推定調査					
	コンクリート強度推定調査		測点	3,960		歩A・単A
S65004	*** S単 - 18号 *** 鉄筋探査					
	鉄筋調査		箇所	3,744		歩A・単A
S65005	*** S単 - 19号 *** はつり作業 (コンクリート)					
	コンクリートはつり作業		箇所	20,340		歩A・単A
S65006	*** S単 - 20号 *** はつり部鉄筋調査					
	はつり部鉄筋調査		箇所	2,250		歩A・単A
S65008	*** S単 - 21号 *** はつり部埋戻し					
	はつり部埋戻し		箇所	10,800		歩A・単A
S65009	*** S単 - 22号 *** 中性化試験 (ドリル法)					

[illegible]

事業名	国営土地改良事業地区調査
業務名	南薩地区耐震対策検討その他業務

業務別業務名:耐震調査作業

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単 - 1号 ***					
S02115	運転手（特殊）		人		1,000	歩A 当たり算出
	運転手（特殊）			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R01021 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R01021	運転手（特殊）	1.000	人	28,800	28,800	
	合 計				28,800	算出数量 1.000 人
	単 価				28,800	
	*** S単 - 2号 ***					
S16001	トラック[クレーン装置付]		時間		1,000 各単位	歩A 当たり算出
	トラック[クレーン装置付] ベ-ストトラック2t積 2.0t吊,,運転1時間当たり算出			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)機械コード 単位が時間のみ 2)機械コード (同上)	MO3101 MO3101		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)機械損料算出区分 4)運転1日当たり運転時間(T)	運転1時間当たり算出 5.8時間				
	5)運転日に対する供用日の割合(YC)	1.23				
	6)単価計上区分 7)岩石補正区分 10)燃料消費量(入力の場合)	機械損料等のみ 岩石補正なし 0.0				
	11)消耗部品の計上の有無 13)消耗部品費の適用条件(2)	消耗部品を計上しない 消耗部品なし				
	14)名称(消耗部品) 15)規格(消耗部品)	- -				
MO3101	トラック[クレーン装置付] ベ-ストトラック2t積 2.0t吊	1.000	時間	1,390	1,390	
	合 計				1,390	算出数量 1.000 各単位
	単 価		各単位		1,390	
Y00001	単位					
	*** S単 - 3号 ***					
S62031	【機械ボーリング(地質調査用)】		m		1,000 m	歩A 当たり算出
	【機械ボーリング(地質調査用)】 土質ボーリング(オルコア), 66,砂・砂質土,,50m以下,鉛直下方			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)作業区分 2)孔径区分	土質ボーリング(オルコア) 66		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)土質区分 5)せん孔深度 6)せん孔方向	砂・砂質土 50m以下 鉛直下方				
A30087	土質ボーリング(オルコアボーリング) 深度50m以下) 66mm 砂・砂質土 鉛直下方	1.000	m	17,900	17,900	
	合 計				17,900	算出数量 1.000 m
	単 価		m		17,900	
R04041	地質調査技師 外業	0.100	人	53,200	5,320	
R04042	主任地質調査員 外業	0.200	人	41,500	8,300	
R04043	地質調査員 外業	0.200	人	31,400	6,280	
	*** S単 - 4号 ***					
S62031	【機械ボーリング(地質調査用)】		m		1,000 m	歩A 当たり算出
	【機械ボーリング(地質調査用)】 土質ボーリング(オルコア), 66,礫混じり土砂,,50m以下,鉛直下方			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)作業区分 2)孔径区分	土質ボーリング(オルコア) 66		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)土質区分 5)せん孔深度 6)せん孔方向	礫混じり土砂 50m以下 鉛直下方				
A30088	土質ボーリング(オルコアボーリング) 深度50m以下) 66mm 礫混じり土砂 鉛直下方	1.000	m	34,700	34,700	

事業名		国営土地改良事業地区調査				
業務名		南薩地区耐震対策検討その他業務				
業務別業務名:耐震調査作業						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	合 計				34,700	算出数量 1.000 m
	単 価		m		34,700	
R04041	地質調査技師 外業	0.150	人	53,200	7,980	
R04042	主任地質調査員 外業	0.290	人	41,500	12,035	
R04043	地質調査員 外業	0.290	人	31,400	9,106	
	*** S単 - 5号 ***					
S62031	【機械ボーリング（地質調査用）】 【機械ボーリング（地質調査用）】 岩盤ボーリング（オールコア）， 66mm軟岩,50m以下,鉛直下方		m		1.000 m	歩A 当たり算出
	1)作業区分	岩盤ボーリング（オールコア） 66		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	2)孔径区分			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	4)岩区分	軟岩		深夜時間:0.0		
	5)せん孔深度	50m以下				
	6)せん孔方向	鉛直下方				
A30021	岩盤ボーリング(深度5.0m以下) 66mm 軟岩 鉛直下方	1.000	m	34,400	34,400	
	合 計				34,400	算出数量 1.000 m
	単 価		m		34,400	
R04041	地質調査技師 外業	0.130	人	53,200	6,916	
R04042	主任地質調査員 外業	0.250	人	41,500	10,375	
R04043	地質調査員 外業	0.250	人	31,400	7,850	
	*** S単 - 6号 ***					
S62033	【サウンディング及び原位置試験】 【サウンディング及び原位置試験】 標準貫入試験,砂・砂質土,		回		1.000 [各単位]	歩A 当たり算出
	1)施工区分	標準貫入試験		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	2)規格区分	砂・砂質土		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
A30052	標準貫入試験 砂・砂質土	1.000	回	10,400	10,400	
	合 計				10,400	算出数量 1.000 [各単位]
	単 価		[各単位]		10,400	
R04041	地質調査技師 外業	0.050	人	53,200	2,660	
R04042	主任地質調査員 外業	0.100	人	41,500	4,150	
R04043	地質調査員 外業	0.100	人	31,400	3,140	
	*** S単 - 7号 ***					
S62033	【サウンディング及び原位置試験】 【サウンディング及び原位置試験】 標準貫入試験,礫混じり土砂,		回		1.000 [各単位]	歩A 当たり算出
	1)施工区分	標準貫入試験		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	2)規格区分	礫混じり土砂		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
A30053	標準貫入試験 礫混じり土砂	1.000	回	14,900	14,900	
	合 計				14,900	算出数量 1.000 [各単位]
	単 価		[各単位]		14,900	
R04041	地質調査技師 外業	0.060	人	53,200	3,192	
R04042	主任地質調査員 外業	0.130	人	41,500	5,395	
R04043	地質調査員 外業	0.130	人	31,400	4,082	

事業名 国営土地改良事業地区調査						
業務名 南薩地区耐震対策検討その他業務						
業務別業務名:耐震調査作業						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S 単 - 8号 ***					
S62033	【サウンディング及び原位置試験】		回		1,000 [各単位]	歩A 当たり算出
	【サウンディング及び原位置試験】 標準貫入試験,軟岩,			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)施工区分 2)規格区分	標準貫入試験 軟岩		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
A30055	標準貫入試験 軟岩	1.000	回	17,100	17,100	
	合 計				17,100	算出数量 1.000 [各単位]
	単 価		[各単位]		17,100	
R04041	地質調査技師 外業	0.070	人	53,200	3,724	
R04042	主任地質調査員 外業	0.140	人	41,500	5,810	
R04043	地質調査員 外業	0.140	人	31,400	4,396	
	*** S 単 - 9号 ***					
S62036	【足場仮設】		箇所		1,000 箇所	歩A 当たり算出
	【足場仮設】 平坦地足場,高さ0.3m以下,50m以下			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)施工区分 2)規格 3)深度区分	平坦地足場 高さ0.3m以下 50m以下		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
A30130	平坦地足場 板材足場(0.3m以下)	1.000	箇所	64,300	64,300	
	合 計				64,300	算出数量 1.000 箇所
	単 価		箇所		64,300	
R04042	主任地質調査員 外業	0.250	人	41,500	10,375	
R04043	地質調査員 外業	0.500	人	31,400	15,700	
	*** S 単 - 10号 ***					
S62037	【準備及び跡片付け】		業務		1,000 業務	歩A 当たり算出
	【準備及び跡片付け】			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)準備及び跡片付け	計上する		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
A30141	準備及び跡片付け	1.000	業務	277,000	277,000	
	合 計				277,000	算出数量 1.000 業務
	単 価		業務		277,000	
R04041	地質調査技師 外業	1.000	人	53,200	53,200	
R04042	主任地質調査員 外業	1.000	人	41,500	41,500	
R04043	地質調査員 外業	0.500	人	31,400	15,700	
	*** S 単 - 11号 ***					
S62039	調査孔閉塞		業務		1,000 業務	歩A 当たり算出
	【その他間接調査費】 0箇所,1箇所,0箇所			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)環境保全 2)調査孔閉塞 3)給水費	0箇所 1箇所 0箇所		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
A30143	環境保全 仮囲い	0.000	箇所	57,600	0	
A30144	調査孔閉塞	1.000	箇所	7,390	7,390	
A30146	給水費(ポンプ運転) 20m以上150m以下	0.000	箇所	22,000	0	

事業名 国営土地改良事業地区調査						
業務名 南薩地区耐震対策検討その他業務						
業務別業務名:耐震調査作業						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	合 計				7,390	算出数量 1.000 業務
	単 価		業務		7,390	
R04042	主任地質調査員 外業	0.000	人	41,500	0	
R04043	地質調査員 外業	0.000	人	31,400	0	
	*** S単 - 12号 ***					
S62040	【資料整理とりまとめ(一般調査業務費)】		業務		1.000 業務	歩A 当たり算出
	【資料整理とりまとめ(一般調査業務費)】 1.0			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)対象土質が-リング 本数	1		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)対象岩盤が-リング 本数	0		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
A30153	資料整理とりまとめ 一般調査業務費	0.800	業務	89,700	71,760	
	合 計				71,760	算出数量 1.000 業務
	単 価		業務		71,760	
	*** S単 - 13号 ***					
S63007	設計労務(直接人件費外業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	2.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	2.00人				
	5)技師Bの人数	0.00人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の数	0.00人				
R04003	主任技師 外業	2.000	人	64,800	129,600	
R04004	技師(A) 外業	2.000	人	57,000	114,000	
	合 計				243,600	算出数量 1.000 式
	単 価		式		243,600	
	*** S単 - 14号 ***					
S63007	設計労務(直接人件費外業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	1.00人				
	5)技師Bの人数	0.00人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の数	0.00人				
R04003	主任技師 外業	1.000	人	64,800	64,800	
R04004	技師(A) 外業	1.000	人	57,000	57,000	
	合 計				121,800	算出数量 1.000 式
	単 価		式		121,800	
	*** S単 - 15号 ***					
S63007	設計労務(直接人件費外業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.00人				

事業名 国営土地改良事業地区調査						
業務名 南薩地区耐震対策検討その他業務						
業務別業務名:耐震調査作業						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	5)技師Bの人数	1.00人				
	6)技師Cの人数	1.00人				
	7)技術員の人数	1.00人				
R04005	技師 (B)					
	外業	1.000	人	47,200	47,200	
R04006	技師 (C)					
	外業	1.000	人	38,400	38,400	
R04007	技術員					
	外業	1.000	人	33,600	33,600	
	合 計				119,200	算出数量 1.000 式
	単 価		式		119,200	
	*** S単 - 16号 ***					
S63009	調査労務(直接人件費外業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	調査労務(直接人件費外業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)地質調査技師の人数	1.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)主任地質調査員の人数	1.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)地質調査員の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
R04041	地質調査技師					
	外業	1.000	人	53,200	53,200	
R04042	主任地質調査員					
	外業	1.000	人	41,500	41,500	
R04043	地質調査員					
	外業	1.000	人	31,400	31,400	
	合 計				126,100	算出数量 1.000 式
	単 価		式		126,100	
	*** S単 - 17号 ***					
S65003	コンクリート強度推定調査		測点		1.000 日	歩A 当たり算出
	コンクリート強度推定調査			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)強度推定調査	計上する		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04006	技師 (C)					
	外業	1.000	人	38,400	38,400	
R04007	技術員					
	外業	1.000	人	33,600	33,600	
Y00004	機械経費					
	10.0%	0.100		72,000	7,200	
	合 計				79,200	算出数量 20.000 測点
	単 価		測点		3,960	
	*** S単 - 18号 ***					
S65004	鉄筋探査		箇所		1.000 日	歩A 当たり算出
	鉄筋調査			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)鉄筋調査	計上する		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04006	技師 (C)					
	外業	1.000	人	38,400	38,400	
R04007	技術員					
	外業	1.000	人	33,600	33,600	
Y00004	機械経費					
	30.0%	0.300		72,000	21,600	
	合 計				93,600	算出数量 25.000 箇所
	単 価		箇所		3,744	
	*** S単 - 19号 ***					
S65005	はつり作業 (コンクリート)		箇所		1.000 日	歩A 当たり算出

事業名 国営土地改良事業地区調査						
業務名 南薩地区耐震対策検討その他業務						
業務別業務名:耐震調査作業						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	コンクリートはつり作業			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)コンクリートはつり作業	計上する		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04006	技師 (C) 外業	1.000	人	38,400	38,400	
R04007	技術員 外業	1.000	人	33,600	33,600	
Y00004	機械経費 10.0%	0.100		72,000	7,200	
Y00004	材料費 3.0%	0.030		72,000	2,160	
	合 計				81,360	算出数量 4.000 箇所
	単 価				20,340	
	*** S 単 - 20号 ***					
S65006	はつり部鉄筋調査		箇所		1.000 日	歩 A 当たり算出
	はつり部鉄筋調査			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)はつり部鉄筋調査	計上する		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04006	技師 (C) 外業	1.000	人	38,400	38,400	
R04007	技術員 外業	1.000	人	33,600	33,600	
	合 計				72,000	算出数量 32.000 箇所
	単 価		箇所		2,250	
	*** S 単 - 21号 ***					
S65008	はつり部埋戻し		箇所		1.000 日	歩 A 当たり算出
	はつり部埋戻し			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)はつり部埋戻し	計上する		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04006	技師 (C) 外業	1.000	人	38,400	38,400	
R04007	技術員 外業	1.000	人	33,600	33,600	
Y00004	材料費 5.0%	0.050		72,000	3,600	
	合 計				75,600	算出数量 7.000 箇所
	単 価		箇所		10,800	
	*** S 単 - 22号 ***					
S65009	中性化試験(ドリル法)		箇所		1.000 日	歩 A 当たり算出
	中性化深さ試験(ドリル法)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)中性化深さ試験(ドリル法)	計上する		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04005	技師 (B) 外業	1.000	人	47,200	47,200	
R04006	技師 (C) 外業	1.000	人	38,400	38,400	
Y00004	機械経費 10.0%	0.100		85,600	8,560	
Y00004	材料費 5.0%	0.050		85,600	4,280	
	合 計				98,440	算出数量 12.000 断面
	単 価		断面		8,203	

事業名 国営土地改良事業地区調査						
業務名 南薩地区耐震対策検討その他業務						
業務別業務名:耐震調査作業						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** X単 - 1号 ***					
X63005	旅費交通費（地質調査）		式		1,000 式	歩 A 当たり算出
	旅費交通費（調査外業宿泊用） 乙地,ライトバン,1.00日,2日,4時間,なし,100km L（100km以上）			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)宿泊地	乙地		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)交通機関区分	ライトバン		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)高速道路往復料金（税別）	7,980		深夜時間:0.0		
	4)鉄道往復料金[全員分合算]（税別）	0				
	5)バス往復料金[全員分合算]（税別）	0				
	6)船舶往復料金[全員分合算]（税別）	0				
	7)航空往復料金[全員分合算]（税別）	0				
	8)往復移動日数	1.00日				
	9)ライトバン使用日数	2日				
	10)時間区分	4時間				
	11)補正区分	なし				
	12)地質調査技師外業日数	3.610日				
	13)主任地質調査員外業日数	5.460日				
	14)地質調査員外業日数	5.210日				
	15)往復移動距離区分	100km L（100km以上）				
P54216	地質調査技師日当 消費税抜き	2,000	人	1,000	2,000	
P54217	主任地質調査員日当 消費税抜き	2,000	人	773	1,546	
P54218	地質調査員日当 消費税抜き	2,000	人	773	1,546	
P54016	地質調査技師宿泊費 （乙地）消費税抜き（4級相当）	1,000	人	8,909	8,909	
P54017	主任地質調査員宿泊費 （乙地）消費税抜き（2級相当）	1,000	人	7,090	7,090	
P54018	地質調査員宿泊費 （乙地）消費税抜き（1級相当）	1,000	人	7,090	7,090	
P54113	外業の滞在日額旅費3級相当以上 宿泊現地到着の翌日より29日目まで	3,000	人	8,354	25,062	
P54112	外業の滞在日額旅費2級相当以下 宿泊現地到着の翌日より29日目まで	7,000	人	6,736	47,152	
P54112	外業の滞在日額旅費2級相当以下 宿泊現地到着の翌日より29日目まで	7,000	人	6,736	47,152	
P54301	高速道路等料金 消費税抜き	1,000	式	7,980	7,980	
M28121	ライトバン[ガソリンエンジン・二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	2,000	日	1,960	3,920	
P34001	ガソリン J I S 2号 レギュラースタンド	21.600	L	162	3,499	
	合 計				162,946	算出数量 1,000 式
	単 価		式		162,946	
	*** X単 - 2号 ***					
X63007	旅費交通費（機能診断外業宿泊用）		式		1,000 式	歩 A 当たり算出
	旅費交通費（機能診断外業宿泊用） 乙地,ライトバン,0.00日,2日,4時間,なし,100km L（100km以上）			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)宿泊地	乙地		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)交通機関区分	ライトバン		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)高速道路往復料金（税別）	7,980円		深夜時間:0.0		
	4)鉄道往復料金[全員分合算]（税別）	0円				
	5)バス往復料金[全員分合算]（税別）	0円				
	6)船舶往復料金[全員分合算]（税別）	0円				
	7)航空往復料金[全員分合算]（税別）	0円				
	8)往復移動日数	0.00日				
	9)ライトバン使用日数	2日				
	10)時間区分	4時間				
	11)補正区分	なし				
	12)技師長外業日数	0.000人				
	13)主任技師外業日数	3.000人				
	14)技師 A 外業日数	3.000人				
	15)技師 B 外業日数	1.500人				
	16)技師 C 外業日数	4.585人				
	17)技術員外業日数	4.085人				
	18)往復移動距離区分	100km L（100km以上）				
P54202	設計用主任技師日当 消費税抜き	2,000	人	1,182	2,364	
P54203	設計用技師（A）日当 消費税抜き	2,000	人	1,000	2,000	
P54204	設計用技師（B）日当 消費税抜き	2,000	人	1,000	2,000	
P54205	設計用技師（C）日当 消費税抜き	2,000	人	1,000	2,000	
P54206	設計用技術員日当 消費税抜き	2,000	人	773	1,546	

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

九州農政局

[illegible]

[illegible]

[illegible]

令和6年度 国営土地改良事業地区調査
南薩地区耐震対策検討その他業務

特別仕様書

九州農政局 南部九州土地改良調査管理事務所

第1章 総 則

第1-1条（適用範囲）

令和6年度 国営土地改良事業地区調査 南薩地区耐震対策検討その他業務（以下「本業務」という）の施行にあたっては、農林水産省農村振興局制定「設計業務共通仕様書」（以下「共通仕様書（設）」という。）、「地質・土質調査業務共通仕様書」（以下「共通仕様書（地）」という。）によるほか、同仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

第1-2条（目 的）

本業務は、国営土地改良事業地区調査「南薩地区」整備計画策定のため、過年度に実施された各種調査結果及び本業務で行う調査を踏まえ、耐震性能照査、耐震補強設計、施設の構想設計を行うものである。

第1-3条（場 所）

本業務の対象場所は、鹿児島県指宿市及び南九州市地内で別添位置図に示すとおりである。

第1-4条（土地への立入り等）

作業実施のための土地の立入り等は、共通仕様書（設）第1-16条によるが、発注者の許可無く土地の踏み荒らし、立木伐採等行った場合に対する補償は、受注者の責任において処理するものとする。

第1-5条（履行確実性評価の達成状況の確認）

本業務の受注にあたり、予算決算及び会計令第85条の基準に基づく価格（以下、「調査基準価格」という。）を下回る金額で受注した場合においては、業務説明書に示す履行確実性評価の審査で提出した追加資料について、業務実施状況を踏まえた実施額に修正し、これを裏付ける資料とともに、業務完了検査時に提出するものとする。その上で、提出された資料をもとに以下の内容について履行確実性評価の達成状況を確認し、その結果を業務成績に反映させるものとする。なお、業務完了検査時まで提出されない場合には以降の提出を受け付けず、業務成績評定に厳格に反映させるものとする。

1. 審査項目 a) ～ c) において、審査時に比較して正当な理由なく必要額を下回った場合
2. 審査項目 d) において、審査時に比較して正当な理由なく再委託額が下回った場合
3. その他、業務計画書等に示された、実施体制、実施手順、工程計画が正当な理由なく異なる等、業務実施体制に関する問題が生じた場合
4. 業務成果品のミス、不備等

第1-6条（一般事項）

業務請負契約書及び共通仕様書に示す以外の一般事項は、次のとおりである。

1. 作業実施の順序、方法等は監督職員と密接な連絡を取り、作業の円滑な進捗を図るものとする。
2. 作業に従事する技術者は、対象業務に十分な知識と経験を有した者とする。
3. 受注者は常に業務内容を把握し、業務期間中に監督職員が資料の提出を求めた場合は速やかにこれに応じるものとする。

第1-7条（管理技術者）

1. 管理技術者は、共通仕様書（設）第1-6条第3項によるものとし、農業土木技術管理士以外の業務に該当する技術部門・選択科目は次のとおりである。

資 格	技術部門	選択科目
技 術 士	総合技術監理	農業－農業土木 農業－農業農村工学
	農 業	農業土木 農業農村工学
博 士	当該業務に関連する学術部門	
シビルコンサルティングマネージャー	農業土木	

2. 調査基準価格を下回る価格で契約した場合においては、管理技術者は屋外で行う調査の実施に際して現場に常駐するとともに、作業日毎に業務の内容を監督職員に報告しなければならない。

なお、管理技術者が現場での常駐場所を定めた場合、あるいは変更した場合は監督職員に報告することとする。

第 1-8 条（照査技術者）

1. 照査技術者は、共通仕様書(設)第 1-7 条第 2 項によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に係る該当する技術部門・選択科目は、次のとおりである。

資 格	技術部門	選択科目
技術士	総合技術監理	農業－農業土木 農業－農業農村工学
	農 業	農業土木 農業農村工学
博士	当該業務に関連する学術部門	
シビルコンサルティングマネージャー	農業土木	

2. 共通仕様書(設)第 1-7 条第 4 項でいう、監督職員が指示する業務の節目とは、次のとおりとする。

- (1) 業務作業計画作成時
- (2) 耐震性能照査結果とりまとめ時
- (3) 耐震補強対策検討結果のとりまとめ時及び施設の構想設計とりまとめ時
- (4) その他、照査計画作成時において監督職員が指示した場合

3. 当該業務の中で照査技術者は、管理技術者を兼務することはできない。

第 1-9 条（担当技術者）

担当技術者は共通仕様書(設)第 1-8 条によるものとする。

第 1-10 条（配置技術者の確認）

共通仕様書(設)第 1-11 条における業務組織計画の作成及び共通仕様書(設)第 1-12 条に基づく技術者情報の登録にあたっては、次によるものとする。

1. 受注者は、業務計画書の業務組織計画に配置技術者の所属・役職および担当する分担業務を明確に記載するものとする。なお、変更業務計画書において、業務組織計画を変更する際も同様とする。
2. 農業農村整備事業測量調査設計業務実績情報サービスへの技術者情報の登録は、業務計画書の業務組織計画において位置付けられた技術者を登録対象とする。

第 1-11 条（保険加入）

受注者は、共通仕様書(設)第 1-37 条に記載されている保険に加入している旨を業務計画書に明示しなければならない。また監督職員から請求があった場合は、保険加入を証明する書類を提示しなければならない。

第2章 作業条件

第2-1条（適用する図書）

本業務の基本的事項に関しては、次に示す図書によるものとする。他の図書を適用する場合は、監督職員の承諾を得るものとする。

番号	名 称	発 行 所	制定(改訂)年月	対象施設
1	土地改良事業設計指針 「耐震設計」	(社)農業農村 工学会	平成27年5月	全 施 設
2	土地改良事業計画設計基準 及び運用・解説 「ポンプ場」	(社)農業農村 工学会	平成30年5月	揚水機場 (吸水槽・吐出槽)
3	官庁施設の総合耐震診断・改 修基準	国土交通省 大臣官房 官庁営繕部	平成8年10月	揚水機場 (建屋)
4	土地改良事業事業設計指針 「ファームボンド」	(社)農業農村 工学会	平成11年3月	ファームボンド
5	電気設備計画設計技術指針 (高低圧編)	(社)農業農村 工学会	令和元年9月	西部第二機場 特別高圧受電設備

第2-2条（作業条件）

本業務の実施にあたっては、以下の事項に留意して作業を進めるものとする。

1. 作業の実施にあたっては、事前に作業方法及び具体的な工程計画を立案し、監督職員及び監督職員が指示するものと十分打合せを行い手戻りのないよう留意しなければならない。
2. 本業務において生じた第三者との紛争で受注者の責に帰する事項は、受注者の責任において処理しなければならない。
3. 現地調査に伴い施設内に立入る場合は、監督職員と打合せを行い施設管理者と調整を実施するものとする。
4. 現地調査の結果、仮設等が必要となった場合は監督職員と協議するものとする。
5. 作業上、支障となる状態が発生した場合は、監督職員と協議するものとする。

第2-3条（対象施設）

本業務の対象となる施設は次のとおりである。

なお、詳細については別紙-1【調査対象施設一覧表】による。

- 【揚水機場】・東部揚水機場（建屋＋基礎工）
・西部第1揚水機場（建屋＋基礎工）
・西部第2揚水機場（建屋）
・特別高圧変電所（西部第揚水機場）
- 【配 水 池】・西部送水路サージタンク

第2-4条（参考図書）

本業務の参考にする図書は、共通仕様書(設)第2-1条によるほか次表によるものとする。

番号	図書・資料名称	発行所	制定(発行)年月
1	農業水利施設の補修・補強工事に関するマニュアル【水路トンネル編】	農林水産省農村振興局	令和3年6月
2	コンクリートのひび割れ調査、補修・補強指針 -2022-	(公社) 日本コンクリート工学会	令和4年6月
3	コンクリート診断技術 '23		令和5年5月
4	コンクリート標準示方書 (設計編)	(公社) 土木学会	令和5年3月
5	コンクリート標準示方書 (施工編)		平成30年3月
6	コンクリート標準示方書 (維持管理編)		令和5年3月

第2-5条 (貸与資料)

貸与資料は、次のとおりである。

分類	貸与資料	数量
地質調査資料	昭和47年度 九州農政局 西部第2揚水機場外四件設計業務報告書	1部
	昭和50年度 南薩農業水利事業 西部第1揚水機場基礎工調査設計業務報告書	1部
	昭和51年度 南薩農業水利事業 南部揚水機場その他設計業務報告書	1部
現況関係資料	土地改良施設整理台帳付属図面	1式
	南薩地区事業誌、事業成績書等	1式
機能診断及び耐震 照査関係資料	平成20年度 国営造成水利施設保全対策指導事業 南薩地区施設機能診断調査業務 報告書	1部
	平成21年度 国営造成水利施設保全対策指導事業 南薩地区施設機能診断調査業務 報告書	1部
	平成25年度 国営土地改良事業地区調査 南薩地区管水路腐食調査業務 報告書	1部
	平成25年度 国営土地改良事業地区調査 南薩地区事業計画(案) 検討業務 報告書	1部
	令和3年度 国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 南薩地区施設機能診断調査業務 報告書	1部
	令和4年度 国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 南薩地区施設機能診断調査業務 報告書	1部
	令和4年度 地域整備方向検討調査 南薩地域事業構想案策定業務 報告書	1部
	令和5年度 地域整備方向検討調査 南薩地域とりまとめ業務 報告書	1部

また、上記以外に必要な資料がある場合は監督職員と協議するものとする。

第2-6条 (参考図書及び貸与資料の取扱い)

第2-4条、第2-5条に示す参考図書及び貸与資料の取扱いは次のとおりとする。

1. 参考図書及び貸与資料の記載事項に相互に矛盾がある場合、又は解釈に疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。
2. 参考図書は、作業時点の最新版を用いることとし、改訂された場合は、監督職員と協議するものとする。

- 貸与資料は、原則として初回打合せ時に一括貸与するものとし、監督職員の請求があった場合のほか完了検査時に一括返納しなければならない。

第2-7条（関連業務）

本業務と関連する他業務は次のとおりであり、監督職員及び関連業務の管理技術者と連携を密にして、互いに協調の図られた業務成果としなければならない。

業 務 名	業務実施期間（予定）
令和6年度 国営土地改良事業地区調査 南薩地区用水計画検討その他業務	令和6年8月下旬 ～令和7年3月中旬
令和6年度 国営造成ストックマネジメント推進事業査 南薩地区施設機能診断調査業務（仮称）	令和6年9月中旬 ～令和7年2月中旬

第3章 作業内容

第3-1条（作業項目及び数量）

- 本業務における作業項目及び数量は、次の作業項目表のとおりである。
なお、詳細は、別紙1【対象施設一覧表】、別紙2【作業項目内訳表】に示すものとする。

作業項目表

作 業 項 目	数 量	備 考
I. 耐震設計作業	1 式	
1. 現地調査	1 式	
2. 資料の検討	1 式	
3. 耐震性能照査	1 式	
4. 耐震補強対策工法の検討	1 式	
5. 施設の構想設計	1 式	
6. 照査	1 式	
7. 点検とりまとめ	1 式	
II. 耐震調査作業	1 式	
1. 施設状況調査	1 式	
III. 地質調査作業	1 式	
1. 一般調査	1 式	
2. 物理試験	1 式	
3. 解析作業	1 式	

- 現地調査作業における、調査箇所及び数量については、監督職員の指示により別途追加することがある。

第3-2条（作業の留意点）

業務の実施あたって、特に留意する点は次のとおりとする。

- 施設状況調査（コンクリート強度推定調査、中性化深さ調査）については、過年度業務（機能診断調査）で調査した箇所と同じ場所での実施を想定しているが、現地踏査の結果を踏まえ、調査地点の変更や追加が必要となった場合は監督職員と協議するものとする。
- はつり部鉄筋調査及び中性化深さ調査（ドリル法）を行う際は構造物への影響が最小限となるよう配慮する。

なお、削孔後は既存施設の機能を損なわないよう無収縮モルタル等により復旧を行うものとする。

3. 現地調査において著しく機能が低下している施設を発見した場合は、遅滞なく監督職員へ報告するものとする。
4. 現地踏査等施設の状況確認においては、できる限り施設管理者の同行により意見・助言を受けて実施するものとする。
5. 対策内容の検討にあたっては、当該施設が必要な機能及び安全で所要の耐久性を有するとともに維持管理、施工性及び経済性について考慮しなければならない。
6. 電算機を使用する場合は、計算手法及びアウトプット等の様式について事前に監督職員の承諾を得るものとする。
7. 第2-4条、第2-5条及び共通仕様書(設)に示す参考図書、貸与資料や受注者が有する資料等を参考にした場合は、その出典を明示するものとする。
8. 耐震対策の検討にあたっては、最新の新素材、新工法などの技術情報の収集に努めた上で、比較検討を行う。新技術や新工法等の選定にあたっては、農業農村整備民間技術情報データベース(NNTD)及び新技術情報システム(NETIS)等を積極的に活用しなければならない。
 - ・ 農業農村整備民間技術情報データベース(NNTD)については、
<https://www.nn-techinfo.jp> を参照。
 - ・ 新技術情報システム(NETIS)
<https://www.netis.mlit.go.jp/NETIS> を参照。
9. 対策内容の検討にあたっては、事業への適用性や施設管理者の管理体制等を総合的に検討する。
10. 数量計算にあたっては、「工事工種の体系化」に基づき作成するものとする。なお、「工事工種の体系化」に該当しない工種や用語については、監督職員と協議するものとする。
 - ・ 「工事工種の体系化」は http://www.maff.go.jp/j/nousin/seko/kouzi_kousyu/ を参照。
11. ボーリング調査の調査方法は、共通仕様書(地)第3-3条に基づくものとする。
12. オーガーボーリングの調査方法は、共通仕様書(地)第3-4条に基づくものとし、現地における調査位置の決定は、原則として監督職員の立会いのうえ行い、後日調査位置の確認ができるようにしなければならない。
13. 標準貫入試験は、各ボーリング孔において、地表より1m毎に実施するものとする。なお、試験方法は、共通仕様書(地)第5-3条に基づくものとする。
14. ボーリング調査の打止め深度について、砂質土を想定しN値50以上を確認後に完了を想定しているが、それによらない場合は、監督職員と別途協議をする。
15. ボーリング成果は、共通仕様書(地)第1-17条に基づき、地盤情報を別途定める検定に関する技術を有する第三者機関による検定を受けた上で、発注者が指定する地盤情報データベースに登録しなければならない。
なお、検定の申込にあたり、地盤情報の公開・利用の可否について、発注者と協議を行うこととする。
16. ボーリング調査の詳細位置は監督職員と打合せのうえ決定するものとする。

第4章 打合せ

第4-1条 (打合せ)

共通仕様書(設)第1-10条による打合せについては、主として次の段階で行うものとする。
また、初回及び最終回の打合せには管理技術者が出席するものとする。

- 初 回 設計作業着手前の段階
- 第2回 中間打合せ(現地調査結果とりまとめ及び物性値の整理完了段階)
- 第3回 中間打合せ(耐震照査検討段階)
- 第4回 中間打合せ(補強対策検討及び施設の構想設計段階)

最終回 報告書原稿作成段階

なお、業務を適正かつ円滑に実施するために、受注者の業務担当は、業務打合せ記録簿を作成し、上記の打合せの都度、内容について監督職員と相互に確認するものとする。

第5章 成果物

第5-1条 (成果物)

成果物を共通仕様書(設)第1-17条に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

- 1 成果物の電子媒体(CD-R 若しくはDVD-R) 正副2部
- 2 成果物の出力1部(黄色(JIS Z8102:2001に規定する色No.61)表紙、黒文字製本)

なお、報告書の最前部には、本業務の要約版を掲載するものとし、その内容は、別途監督職員の指示によるものとする。

第5-2条 (成果物の提出先)

成果物の提出先は、次のとおりとする。

鹿児島県鹿児島市喜入中名町 1000-28

九州農政局 南部九州土地改良調査管理事務所 薩摩支所

第6章 契約変更

第6-1条 (契約変更)

業務請負契約書第17条から第20条に規定する発注者と受注者による協議事項は、次のとおりとする。

- 1 第2-2条に示す「作業条件」に変更が生じた場合。
- 2 第3-1条「作業項目及び数量」及び第3-2条「作業の留意点」の内容に変更が生じた場合。
- 3 第4-1条に示す「打合せ」に変更が生じた場合。
- 4 第5-1条に示す「成果物」に変更が生じた場合。
- 5 履行期間の変更が生じた場合。
- 6 関係機関等の対外的協議等により、設計計画等に変更が生じた場合。
- 7 その他

第7章 定めなき事項

第7-1条 (定めなき事項)

この特別仕様書に定めなき事項又はこの業務の実施にあたり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

【調査対象施設一覧表】

施設名称・対象構造物	施 設 延 長（規模）		備 考
	構造物の規模等	数 量	
1. 土木構造物『コンクリート構造物（揚水機場）』			
東部揚水機場			※耐震性能照査 （建屋+基礎）
建屋	RC 造 地上 2 階式 84 m ²	1 式	
吸水槽	RC 造	1 式	
ポンプ設備	主ポンプ 立軸斜流ポンプ φ 350、流量 12.44m ³ /min、 全揚程 95m	3 台	
（電動機）	原動機 立軸かご形三相誘導電動機 315kw	3 台	
（補機類）	潤滑水ポンプ 横軸多段渦巻ポンプ φ 40、 流量 0.22m ³ /min、出力 7.5kw、全揚程 82m	3 台	
バルブ類	吐出弁 電動仕切弁 φ 250	3 台	
	逆止弁 バイパス緩閉式逆止弁 φ 350	3 台	
ゲート設備	取水ゲート スライドゲート B3.0×H2.0	1 門	
電気設備	高圧受変電設備 三相 3 線式 6.6kv 60Hz	1 式（設備）	
西部第 1 揚水機場			※耐震性能照査 （建屋+基礎）
建屋	RC 造 平屋建 156 m ²	1 式	
吸水槽	RC 造	1 式	
ポンプ設備	主ポンプ 立軸斜流ポンプ φ 600、流量 44.88m ³ /min、 全揚程 11.7m	4 台	
（電動機）	原動機 立軸かご形三相誘導電動機 132kw	4 台	
（補機類）	潤滑水ポンプ 片吸込多段渦巻ポンプ φ 40、 出力 2.2kw	2 台	
	取水ポンプ 水中モーターポンプ φ 40、出力 1.5kw	1 台	
バルブ類	吐出弁 電動仕切弁 φ 600 0.47:kw	4 台	
	逆止弁 フラップ弁 φ 800	4 台	
ゲート設備	取水ゲート スライドゲート B:5.0×H:2.0	2 門	
	2 段ゲート スライドゲート 上段 B:3.0×H:1.5、下段 B:3.0×H:1.2	1 門	
電気設備	高圧受変電設備 三相 3 線式 6.6kv 60Hz	1 式（設備）	
西部第 2 揚水機場			※耐震補強対策 （建屋）
建屋	RC 造 平屋建 350 m ²	1 式	
吸水槽	RC 造	1 式	
ポンプ設備	主ポンプ 立軸斜流ポンプ φ 600、 流量 37.50 m ³ /min、全揚程 135m	5 台	
（電動機）	原動機 立軸かご形三相誘導電動機 1200kw	5 台	
（補機類）	潤滑水ポンプ 水中渦巻ポンプ φ 50 mm、出力 11kw	2 台	
	冷却水ポンプ 水中渦巻ポンプ φ 65 mm、出力 4kw	2 台	
	場内排水ポンプ 水中渦巻ポンプ φ 100 mm、 出力 6kw	2 台	
バルブ類	吐出弁 電動仕切弁 φ 600	5 台	
	逆止弁 バイパス緩閉式逆止弁 φ 600	5 台	
ゲート設備	取水ゲート ローラゲート B:2.4×H:2.4	1 門	
電気設備	高圧受変電設備 三相 3 線式 6.6kv 60Hz	1 式（設備）	
（特別高圧変電所）	特別高圧受変電設備 15m×8m×4.8m 三相変圧器 66kv 60Hz	1 式	※施設構想設計 （受変電設備）
2. 土木構造物『パイプライン附帯施設（サージタンク）』			
西部送水路サージタンク			※施設構想設計
サージタンク	PC タンク V=98 m ³ 内径 5m H=6.4m	1 式	

【作業項目内訳表】

〔Ⅰ．耐震設計作業〕

作 業 項 目	作 業 内 容	備 考
1. 現地調査	対象施設の現況について調査し、業務実施計画策定、耐震補強対策工の現地条件等の把握及び構想設計を行う施設の適地調査のために必要な現地調査を行う。	
2. 資料の検討	施設状況調査、耐震性能照査及び耐震補強対策工の検討のための資料収集及び貸与資料の内容を把握し作業計画を策定する。	
3. 耐震性能照査		
3-1. 物性値の整理	<p>貸与資料及び東部揚水機場での地質調査結果を踏まえて、耐震性能照査に必要となる地盤物性値等（液状化判定を含む）を整理する。</p> <p>○対象施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東部揚水機場 地質調査結果 : 本業務調査 液状化判定 : 本業務調査 ・西部第1揚水機場 地質調査結果 : 貸与資料 液状化判定 : 本業務調査 	
3-2. 揚水機場（建屋）	<p>施設状況調査の結果を基に、東部揚水機場（建屋＋基礎）、西部第1揚水機場（建屋＋基礎）について、「官庁施設の総合耐震診断・改修基準」に基づき耐震性能照査を行う。</p> <p>○対象施設（両施設とも耐震安全性能の分類：Ⅲ類）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東部揚水機場（RC造 地上2階式 84 m²） 基礎形式：杭基礎 ・西部第1揚水機場（RC造 平屋建 156 m²） 基礎形式：杭基礎 	
4. 耐震補強対策工法の検討	<p>過年度業務の結果、耐震補強が必要となった西部第2揚水機場（建屋）について、耐震補強対策の構想設計を行い、仮設工を含む概算工事費の算定を行う。</p> <p>○対象施設（耐震安全性能の分類：Ⅲ類）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西部第2揚水機場（RC造 平屋建 350 m²） 基礎形式：直接基礎 	
5. 施設の構想設計	<p>特別高圧変電設備（西部第2揚水機場）及び西部送水路サージタンクについて、新設する必要性を整理し、現地調査及び地形図（1/5000、等高線間隔 5m）を参考に施設の適地調査を行う。</p> <p>併せて、構想設計（簡易な構造図等の作成）及び概算工事費の算定を行う。</p> <p>なお、特別高圧変電所の設備仕様について、屋内又は屋外の比較検討（建設費、維持管理費の経済比較を含む）を行い決定するものとする。</p>	

	○対象施設 ・特別高圧受変電設備（重要度区分B） （既建屋：15m×8m×4.8m 設備：三相変圧器 66kv 60Hz） ・サージタンク（重要度区分B） （P Cタンク V=98 m ³ 内径 5m H=6.4m）	
6. 照査	照査計画書に基づき、業務の節目毎に照査を実施し、照査報告書の作成を行う。	
7. 点検とりまとめ	成果資料の点検及びとりまとめを行い、報告書を作成する。	

〔Ⅱ．耐震調査作業〕

作 業 項 目	作 業 内 容	備 考
1. 施設状況調査	耐震性能照査を行うため、建屋躯体の配筋状況（ピッチ、鉄筋径）及びコンクリートの劣化状況確認に必要な以下の調査を行う。	
1-1. 現地踏査	東部揚水機場（建屋）及び西部第1揚水機場（建屋）について、下記の定点調査の調査位置選定を把握するための現地踏査を行う。 ○対象施設 ・東部揚水機場（R C造 地上2階式 84 m ² 、重要度区分B） ・西部第1揚水機場（R C造 平屋建 156 m ² 、重要度区分B）	
1-2. 定点調査	1-1. で現地踏査を行った揚水機場（建屋）において鉄筋探査、はつり作業、はつり部鉄筋調査、はつり部埋戻し、中性化深さ試験（ドリル法）、コンクリート強度推定調査を下記の通り行うものとするが、詳細は監督職員と協議するものとする。 ○対象施設 ・東部揚水機場（R C造 地上2階式 84 m ² 、重要度区分B） ・鉄筋探査(60cm×60cm)＋はつり作業(コンクリート)＋鉄筋調査＋中性化深さ試験(ドリル法)＋はつり埋戻し ：3箇所（梁、柱、壁） ・コンクリート強度推定調査 ：3箇所（梁、柱、壁） ・西部第1揚水機場（R C造 平屋建 156 m ² 、重要度区分B） ・鉄筋探査(60cm×60cm)＋はつり作業(コンクリート)＋鉄筋調査＋中性化深さ試験(ドリル法)＋はつり埋戻し ：3箇所（梁、柱、壁） ・コンクリート強度推定調査：3箇所（梁、柱、壁）	

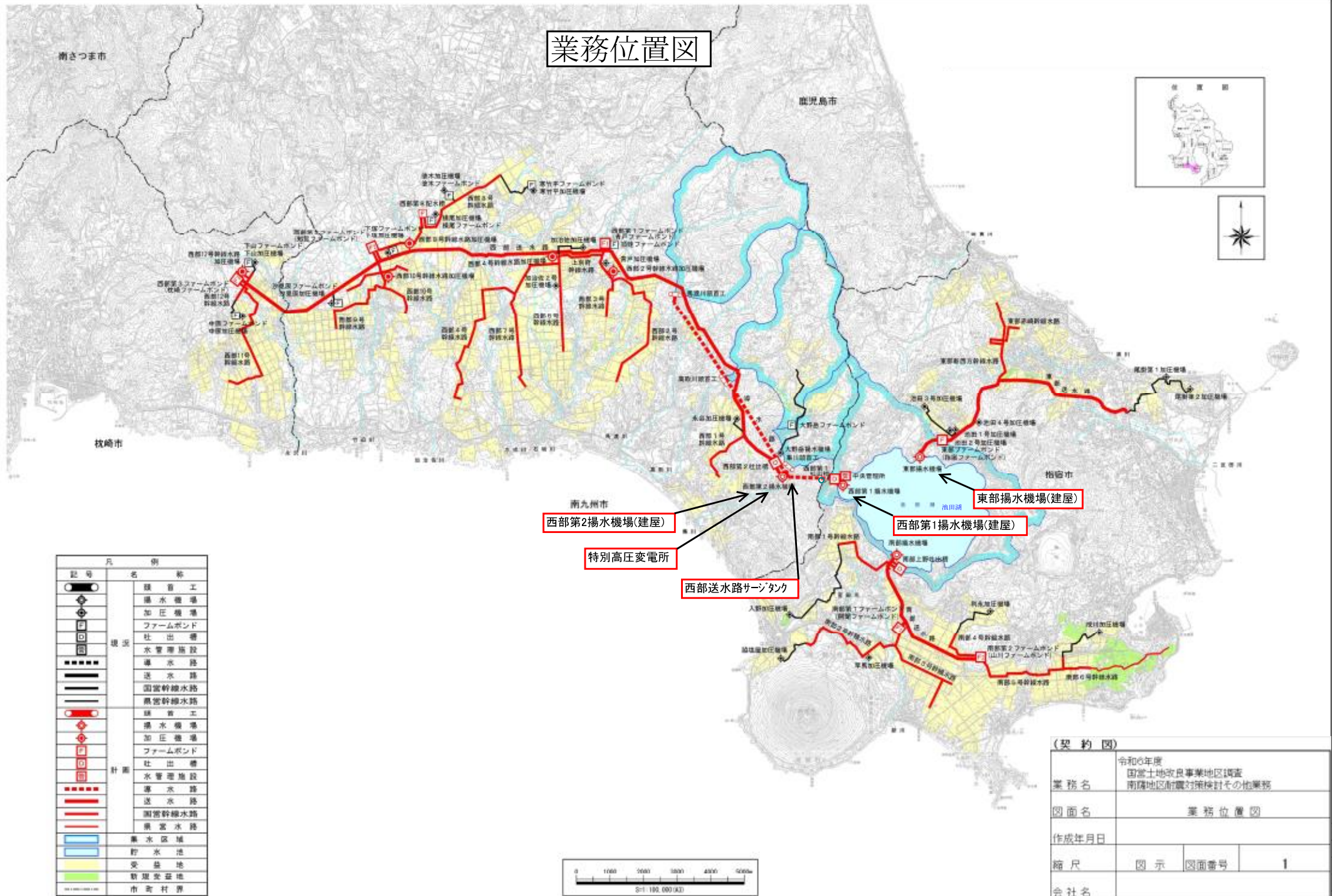
[Ⅲ. 地質調査作業]

作業項目	規 格	作業条件	数 量	備 考
1. 一般調査				
1) 調査ボーリング	(東部揚水機場)		(10.0m)	
1)-1. 土質ボーリング	φ 66、オールコア	砂質土	8.0m	
1)-2. 土質ボーリング	φ 66、オールコア	礫質土	1.0m	
1)-3. 岩盤ボーリング	φ 66、オールコア	軟岩土	1.0m	
2) 調査ボーリング	(西部第1揚水機場)		(3.0m)	液状化判定試料採取
2)-1. オールボーリング	ポストホール型 φ100	砂質土	3.0m	
3) 標準貫入試験			(10回)	
3)-1. 標準貫入試験		砂質土	8回	
3)-2. 標準貫入試験		礫混土	1回	
3)-3. 標準貫入試験		軟岩	1回	
4) 仮設工				
4)-1. 仮設足場工		平坦地	1箇所	
4)-2. 給水工			1箇所	
2. 物理試験				
1) 土の粒度試験	JIS A 1204		3試料	東部揚水機場(2試料) 西部第1機場(1試料)
3. 解析作業				
1) 資料整理とりまとめ			1式	

令和6年度国営土地改良事業地区調査 南薩地区耐震対策検討その他業務			
図 面 目 録			
番号	名 称	枚 数	備 考
1	業 務 位 置 図	1	
2	地質調査ボーリング位置図（東部揚水機場）	1	
3	オーガーボーリング位置図（西部第1揚水機場）	1	
	計	3	

番号	名 称	枚 数	備 考
1	業 務 位 置 図	1	
2	地質調査ボーリング位置図（東部揚水機場）	1	
3	オーガーボーリング位置図（西部第 1 揚水機場）	1	
	計	3	

業務位置図



業務名	令和6年度 国営土地改良事業地区調査 南隣地区耐震対策検討その他業務
図面名	業務位置図
作成年月日	
縮尺	図示 図面番号 1
会社名	
事務所	九州農政局南部九州土地改良調査管理事務所

地質調査ボーリング位置図
(東部陽水機場)

δ = 1/200

全図幅 3

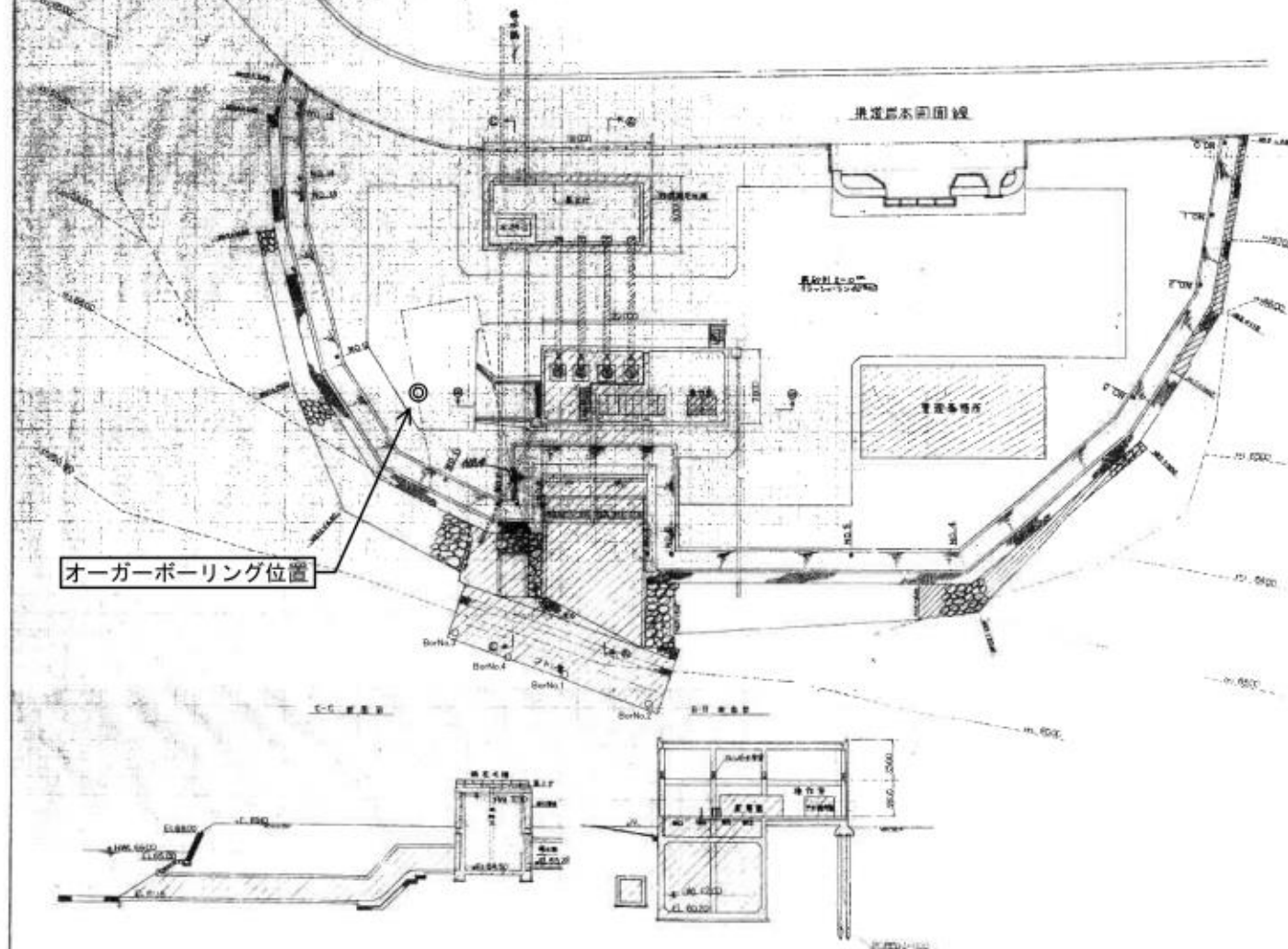


地質調査ボーリング位置

(契約図)

業務名	令和5年度 国土改良事業地区調査 南薩地区創成対策検討その他業務		
図面名	地質調査ボーリング位置図 (東部陽水機場)		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	2
会社名			
事務場所	九州農政局南九州土地改良調査管理事務所		

オーガーボーリング位置図
(西部第1揚水機場)



(契約図)

業務名	令和6年度 国土土地改良事業地区調査 関係地区対策検討会対策計画の策定
図面名	オーガーボーリング位置図 (西部第1揚水機場)
作成年月日	
縮尺	図示
図面番号	3
会社名	
事務所	九州農政局南部九州土地改良事業管理事務所

令和6年度国営土地改良事業地区調査
南薩地区耐震対策検討その他業務

(参 考 図)

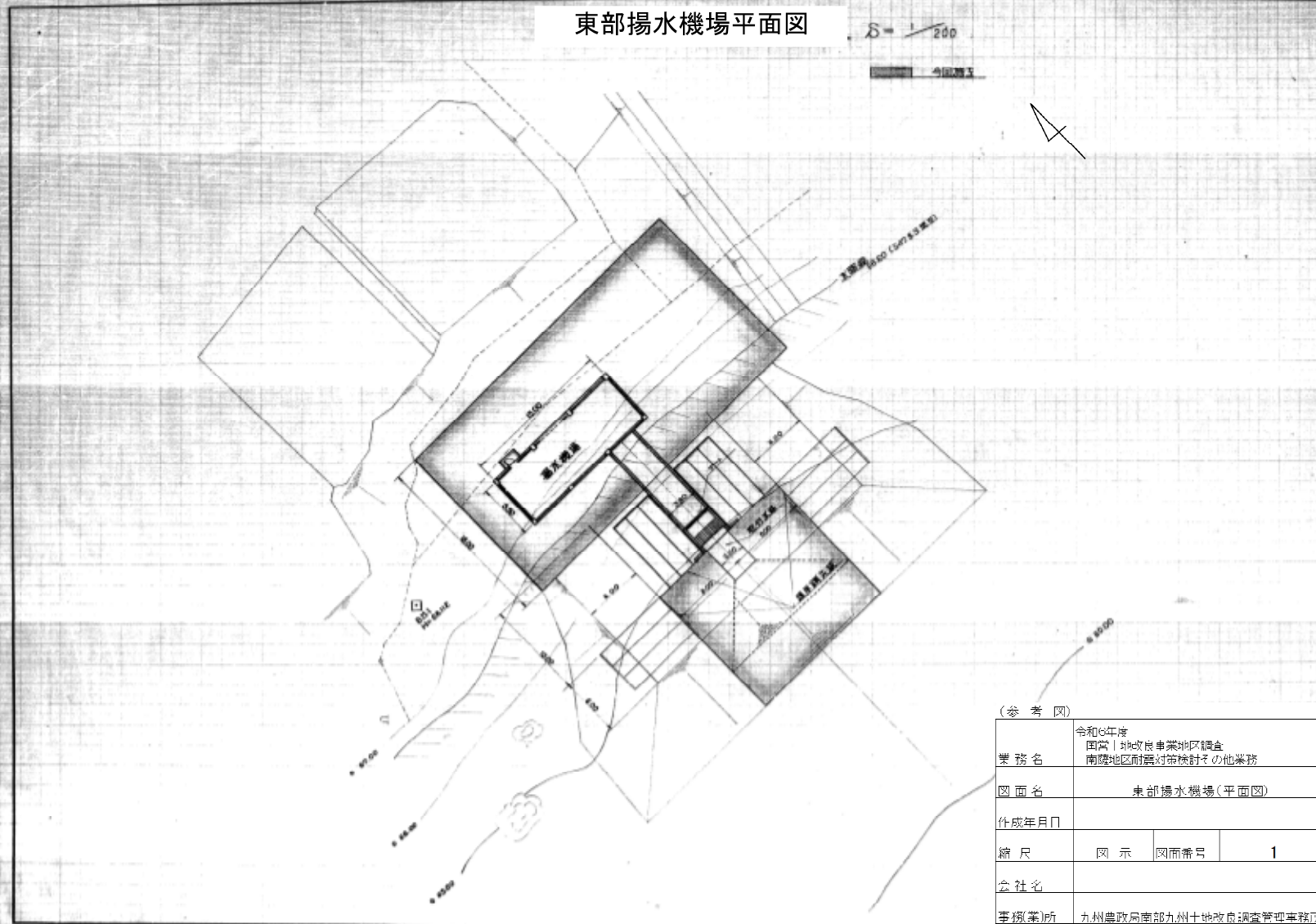
図 面 目 録

番号	名 称	枚 数	備 考
1	東 部 揚 水 機 場 (平面図)	1	参考図
2	東 部 揚 水 機 場 (縦断図)	1	参考図
3	東 部 揚 水 機 場 (横断図)	1	参考図
4	西 部 第 1 揚 水 機 場 (平面図)	1	参考図
5	西 部 第 1 揚 水 機 場 (柱状図)	1	参考図
6	西 部 第 2 揚 水 機 場 (平面図)	1	参考図
7	西 部 第 2 揚 水 機 場 (断面図)	1	参考図
8	西 部 第 2 揚 水 機 場 (柱状図)	1	参考図
9	特 別 高 圧 受 変 電 設 備 (平面図)	1	参考図
10	特 別 高 圧 受 変 電 設 備 (外形図)	1	参考図
11	西 部 送 水 路 サージタンク (平面図)	1	参考図
12	西 部 送 水 路 サージタンク (断面図)	1	参考図
13	西 部 送 水 路 サージタンク (柱状図)	1	参考図
	計	13	参考図

東部揚水機場平面図

δ = 1/200

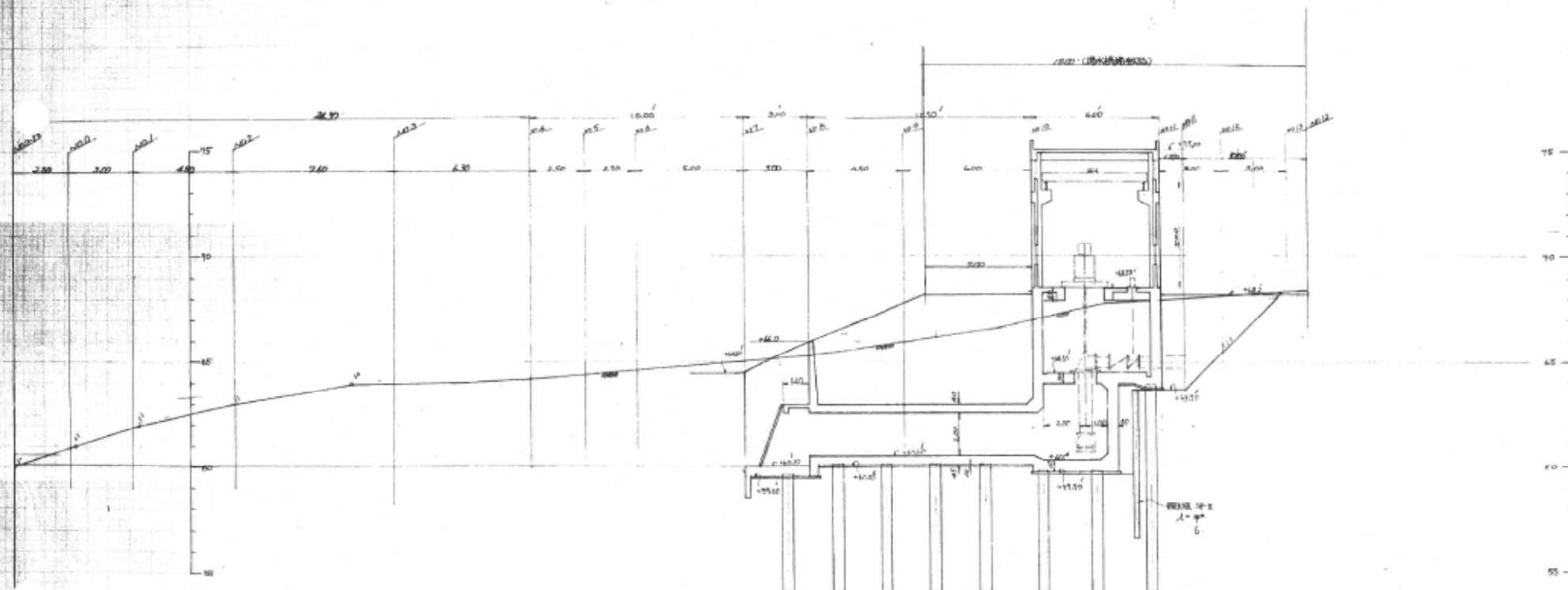
全図幅 3



(参考図)

業務名	令和6年度 国富1地改良事業地区調査 南陸地区耐震対策検討その他業務		
図面名	東部揚水機場(平面図)		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	1
会社名			
事務(筆)所	九州農政局南部九州土地改良調査管理事務所		

東部揚水機場縦断面図



(参 考 网)

業務名	令和6年度 国営土地改良事業地区調査 南陸地区耐震対策検討その他業務
-----	--

図面名	東部揚水機場(縦断図)
-----	-------------

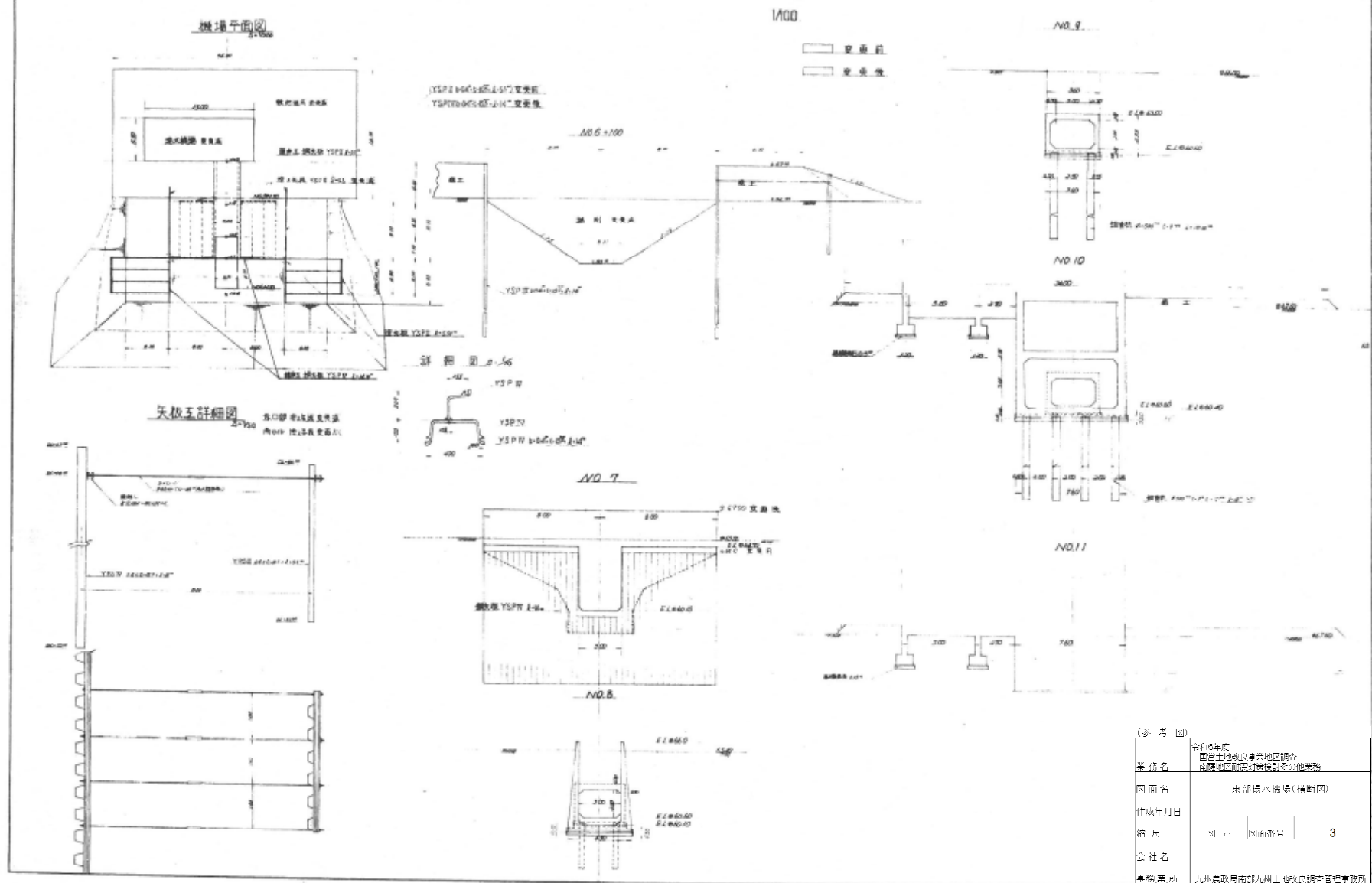
作成年月日

縮尺	図小	図面番号	2
----	----	------	---

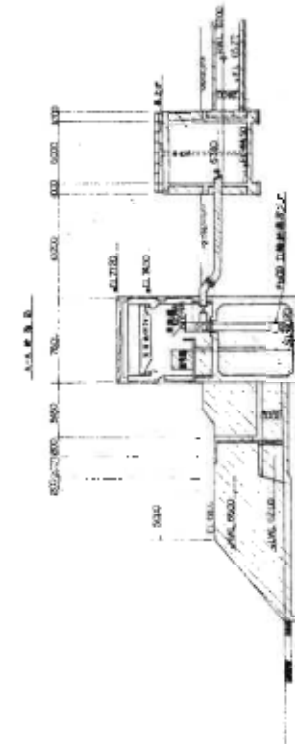
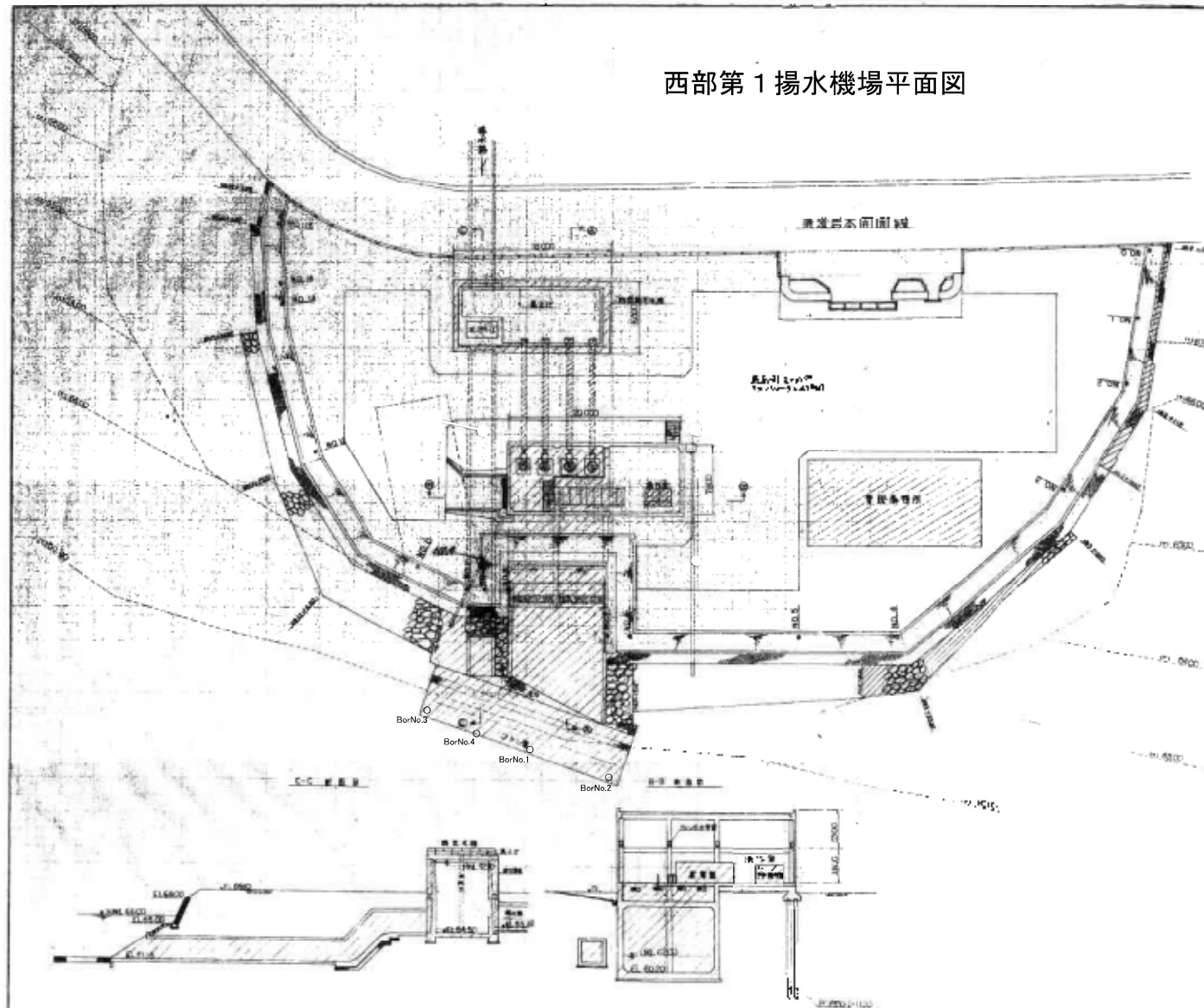
会社名

事務(業)所	九州農政局南部九州土地改良調査管理事務所
--------	----------------------

東部揚水機場横断面図



西部第1揚水機場平面図



(参考図)

業名	令和6年度 国土改良事業地区調査 南薩地区耐震対策検討その他業務		
図面名	西部第1揚水機場関係図(平面図)		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	4
会社名			
事務所	九州農政局南部九州土地改良調査管理事務所		

No.	地層名	厚さ(m)
No. 3	砂質土(砂)	2.2
	礫質土(礫)	0.2
	砂質土(荒砂)	3.8
	礫質土(礫)	0.2
	砂質土(荒砂)	2.8
	中硬岩(安山岩)	0.3
	計	9.5

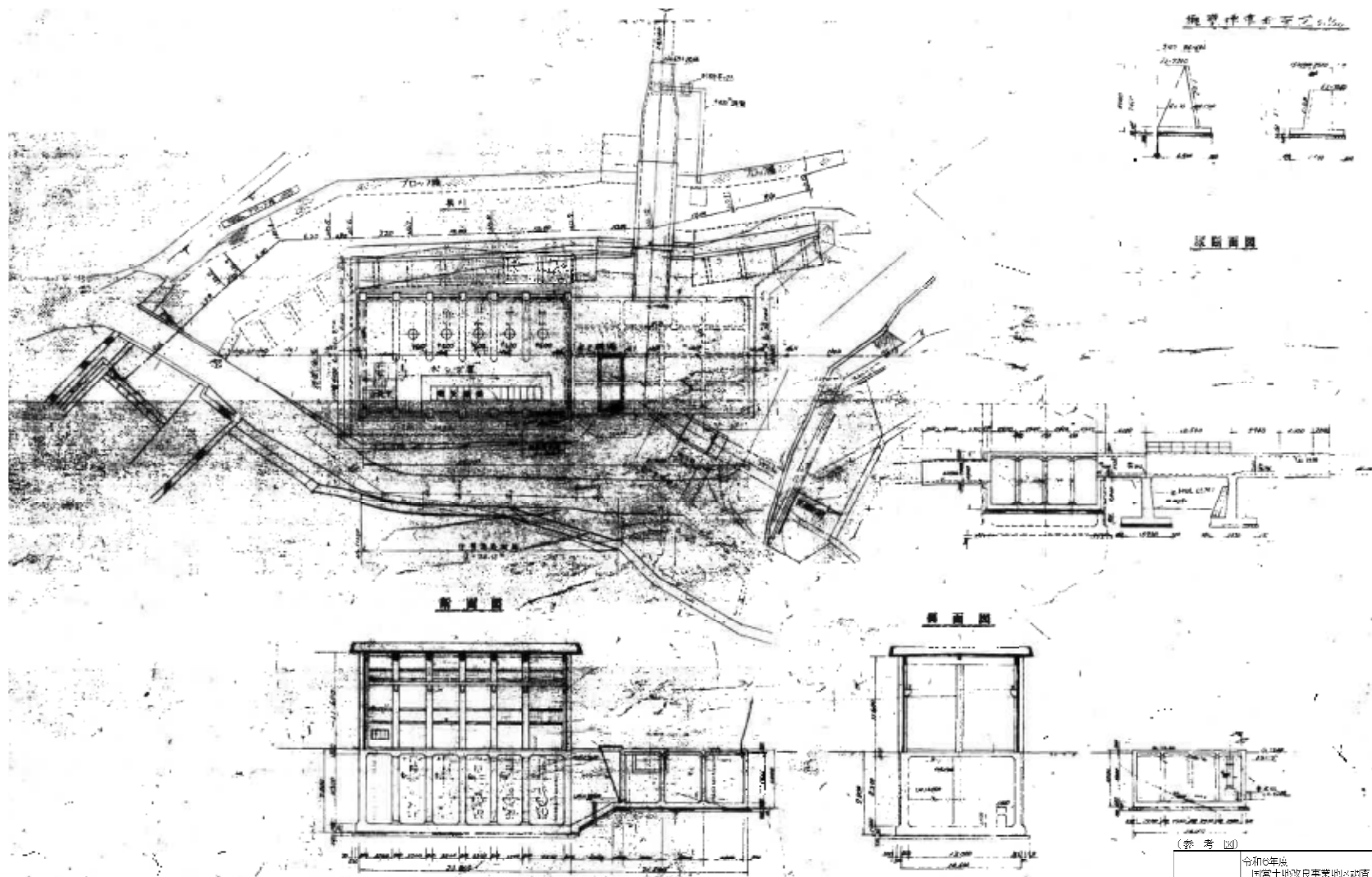
(S50西部第一機場基礎工調査設計業務より)

業務名	令和6年度 国富土地成農事業地区調査 南薩地区耐震補修設計その他業務		
図面名	西部第1掘水機関係図(柱状図)		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	5
会社名			
事務業)所	九州農政局南部九州土地改良調査管理事務局		

	小礫はじり砂(土砂)
	ミドリ質砂
	砂 礫
	砂
	軽石はじり砂
	軽石礫石
	安山岩
	地層境界線

(S50西部第一機場基礎工調査設計業務より)

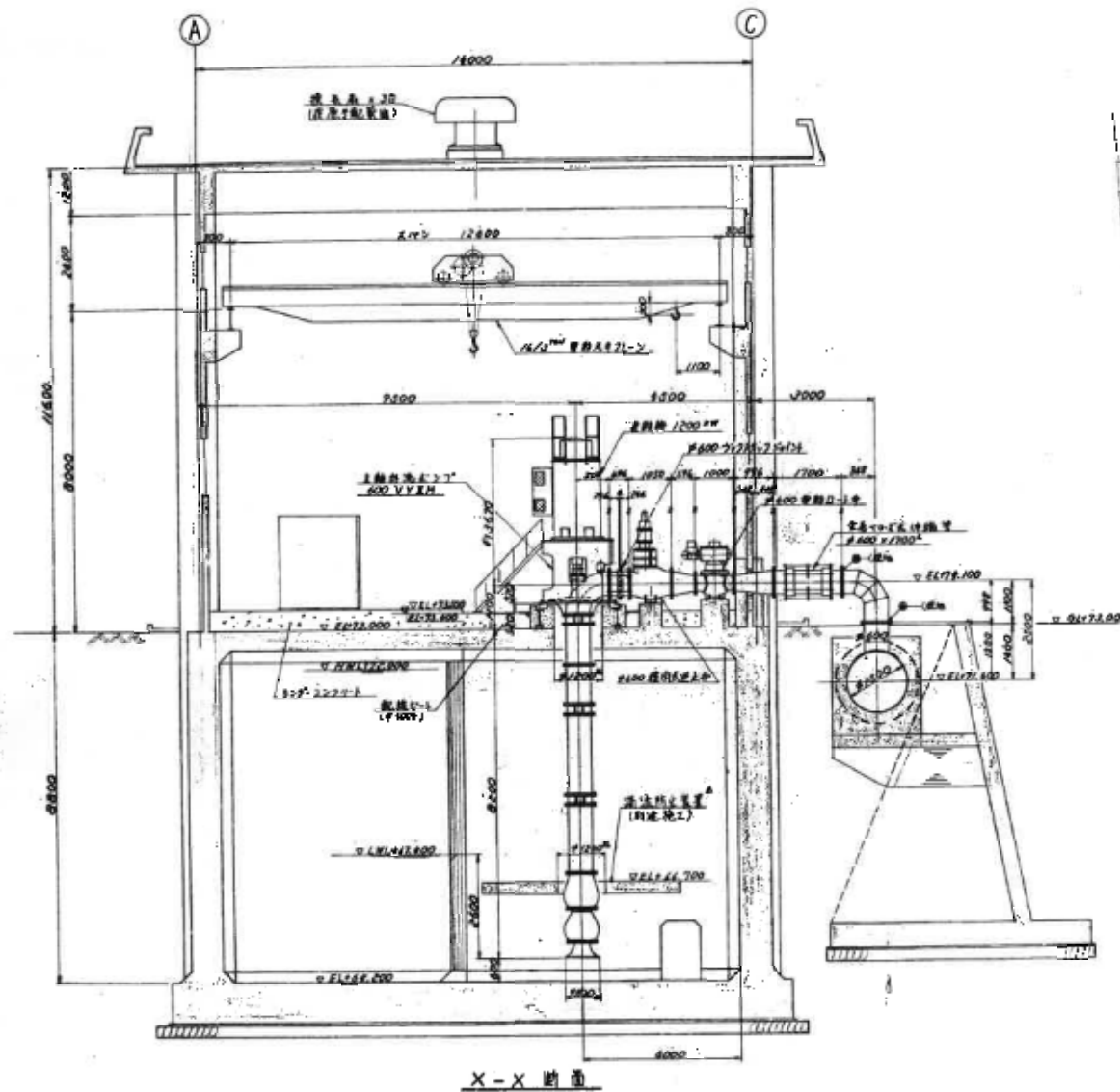
西部第2揚水機場平面図



(参考図)

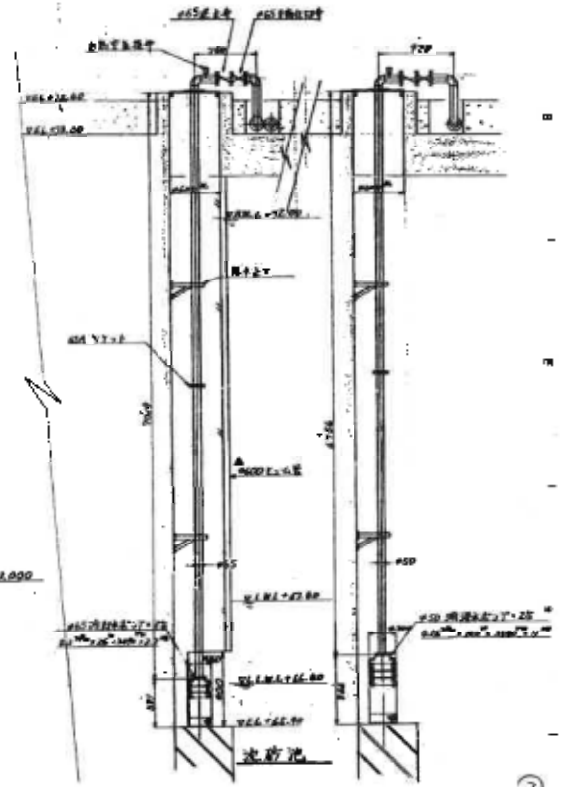
業務名	令和8年度 国土地方政策事業地区計画 南薩地区防災施設設計その他業務		
図面名	西部第2揚水機場関係図(平面図)		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	6
会社名			
依頼先	九州農政局南部九州土地政策調査管理事務所		

西部第二揚水機場断面図



注記
1. 本図は、本設計書の添付図である。
2. 本図は、本設計書の添付図である。

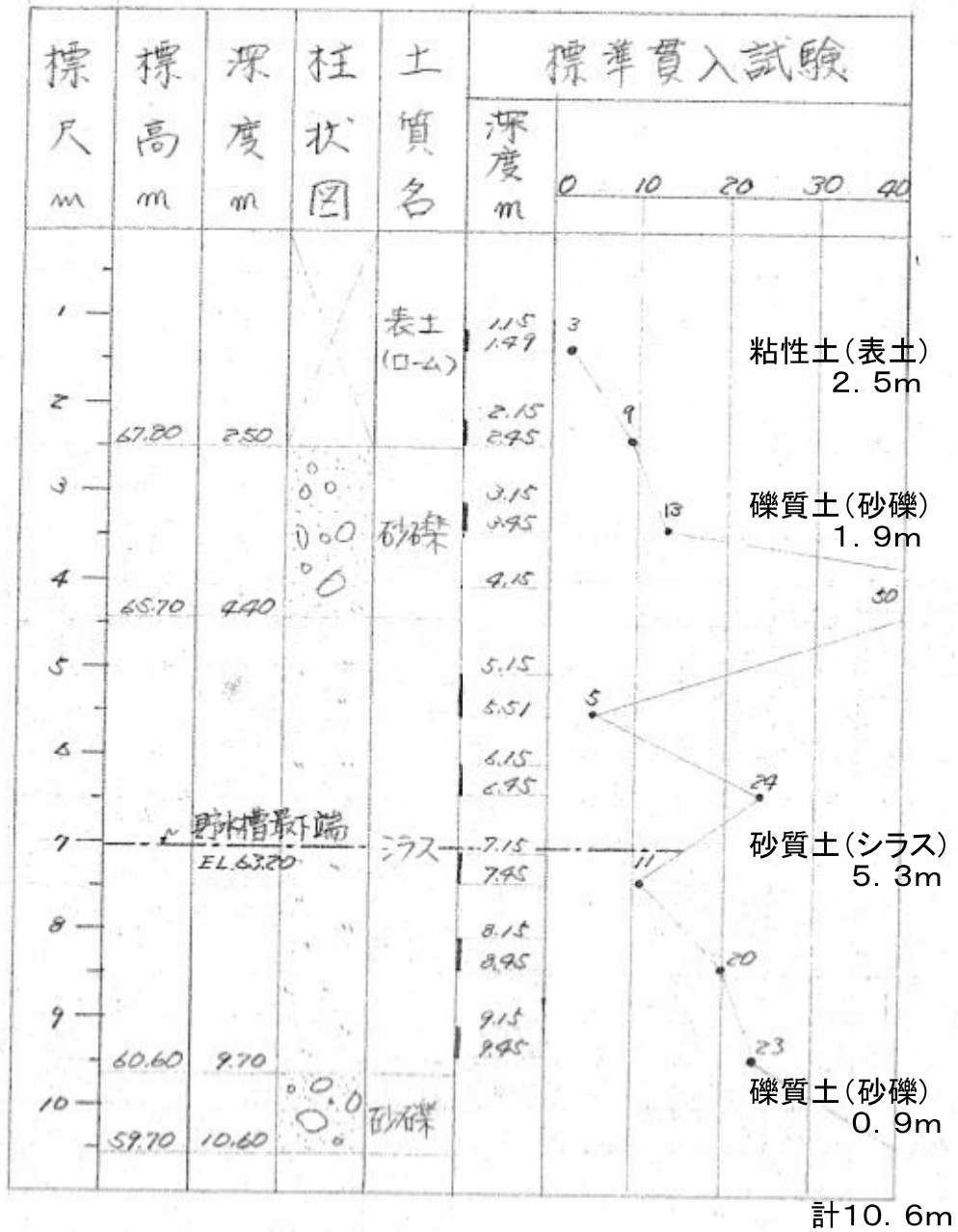
図名	図番	図尺	図種	図用
西部第二揚水機場断面図	1	1:100	断面図	1/1
西部第二揚水機場断面図	2	1:100	断面図	1/1
西部第二揚水機場断面図	3	1:100	断面図	1/1
西部第二揚水機場断面図	4	1:100	断面図	1/1
西部第二揚水機場断面図	5	1:100	断面図	1/1
西部第二揚水機場断面図	6	1:100	断面図	1/1
西部第二揚水機場断面図	7	1:100	断面図	1/1
西部第二揚水機場断面図	8	1:100	断面図	1/1
西部第二揚水機場断面図	9	1:100	断面図	1/1
西部第二揚水機場断面図	10	1:100	断面図	1/1



(参考図)

業務名	令和6年度 国営土地改良事業地区調査 南陽地区前震対策検討その他業務
図面名	西部第二揚水機場(断面図)
作成年月日	
縮尺	図示 以南南号 7
会社名	
事務(業)所	九州農政局南部九州土地改良調査管理事務所

西部第二揚水機場地質柱状図

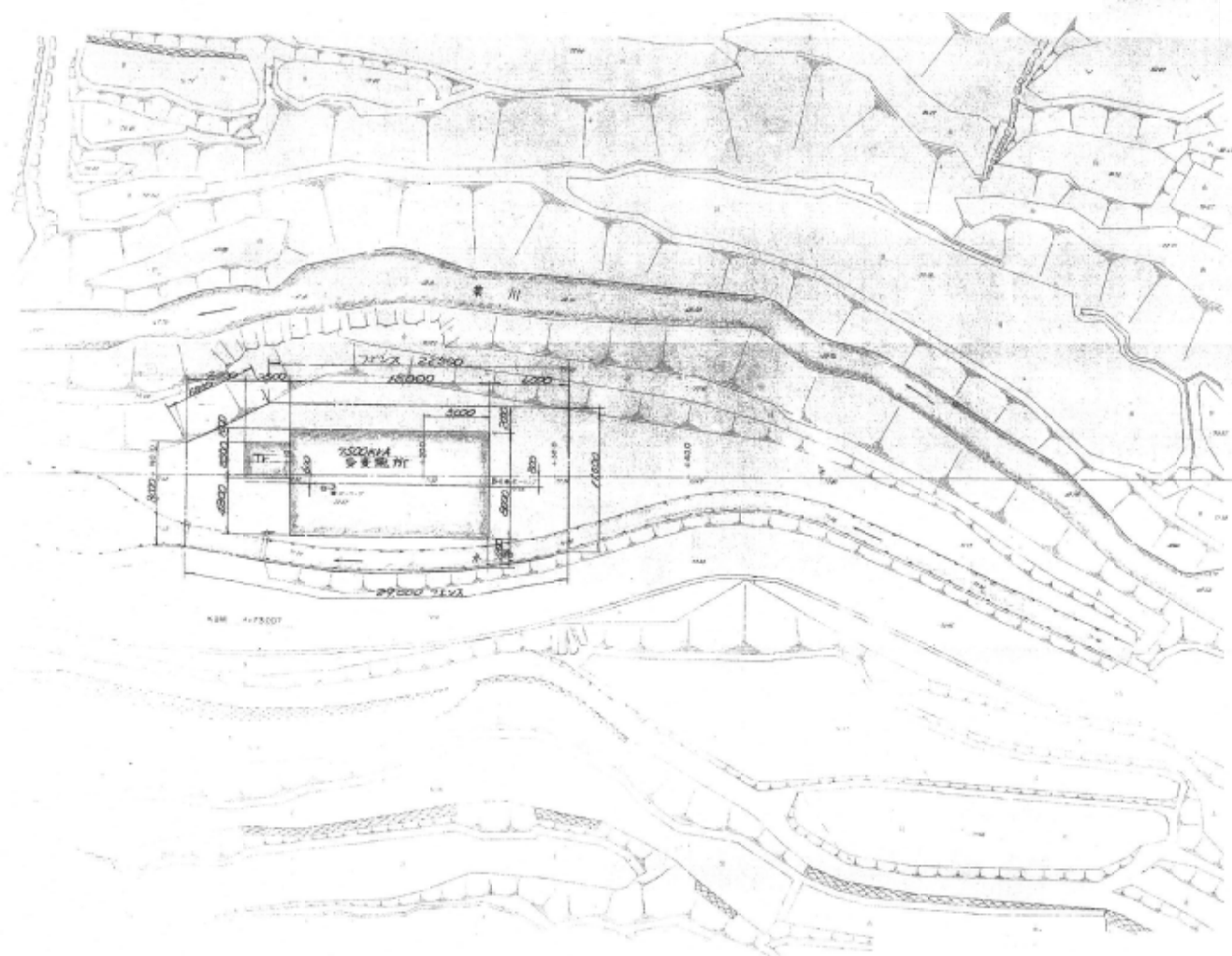


(参考図)

業 務 名	令和6年度 国土形成事業地区調査 南薩地区耐震対策検討その他業務		
図 面 名	西部第2揚水機場(柱状図)		
作成年月日			
縮 尺	図 示	図面番号	8
会 社 名			
業務場所	九州農政局南部九州土地改良調査管理事務所		

(S47西部第2揚水機場外四件設計業務より)

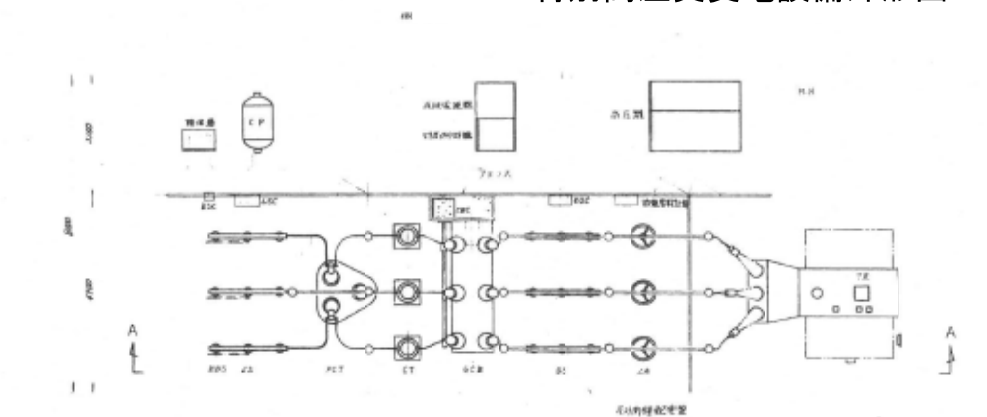
特別高圧受変電設備平面図



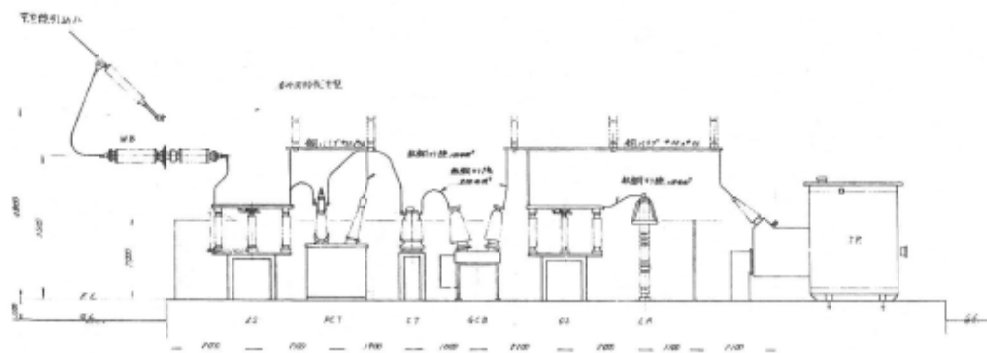
(参考図)

業務名	令和3年度 国営土地改良事業地区調査 南薩地区耐震対策検討その他業務		
図面名	特別高圧受変電設備(平面図)		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	9
会社名			
業務場所	九州農政局南部九州土地改良調査管理事務所		

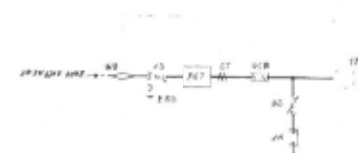
特別高圧受変電設備外形図



pt. 80 2 3-79



A = A 新 品 区



机 械 制 造 工 人

数量	名称	定 额
2	× 89	24000
1	× 12	24000
1	× 15	24000
5	× 17	24000
1	× 20	24000
1	× 22	24000
3	× 24	24000
5	× 26	24000
2	× 28	24000

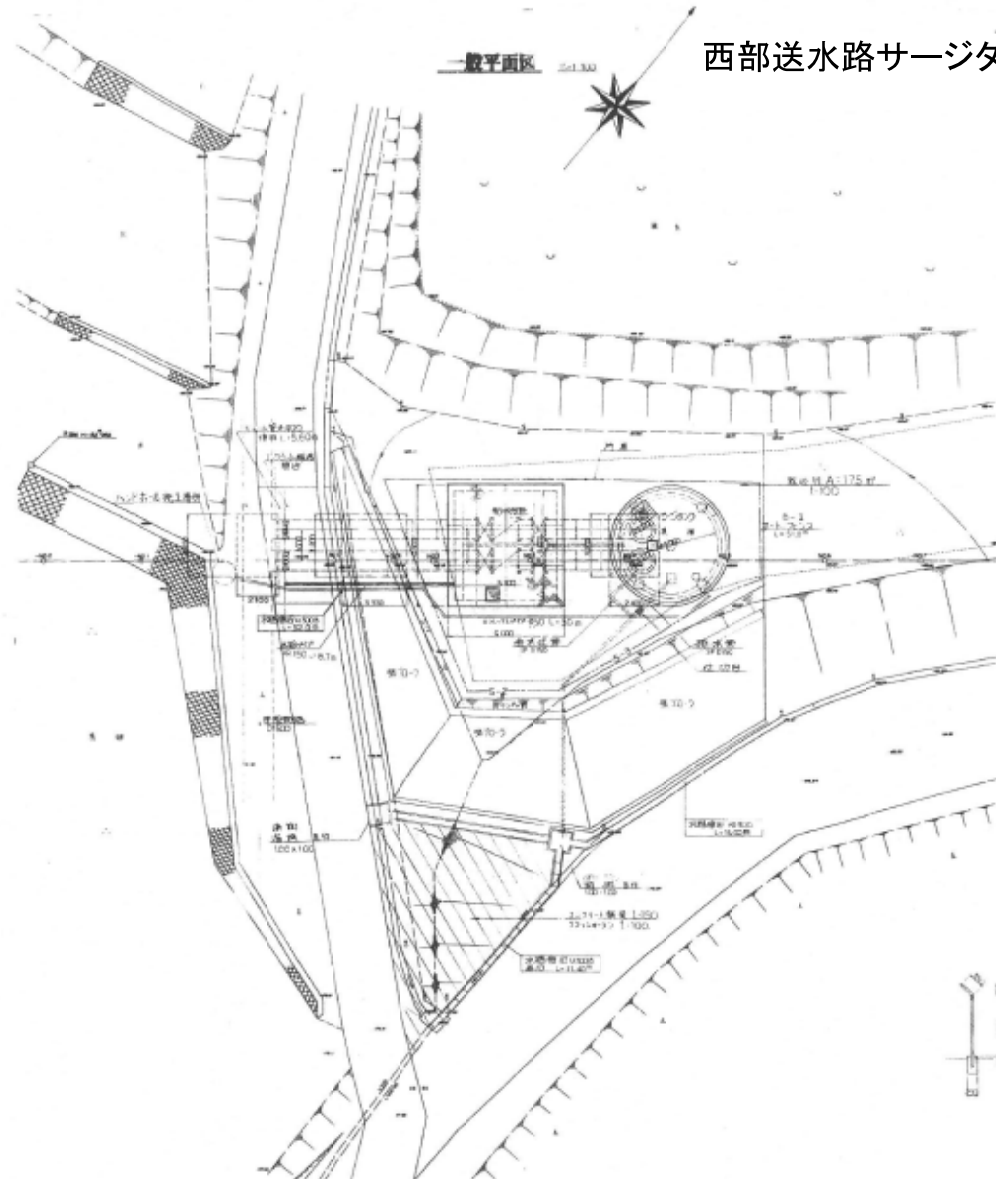
主 任 趙生功 教授 趙生功

[12] 中国城市人口地理学. 北京: 商务印书馆, 1995.

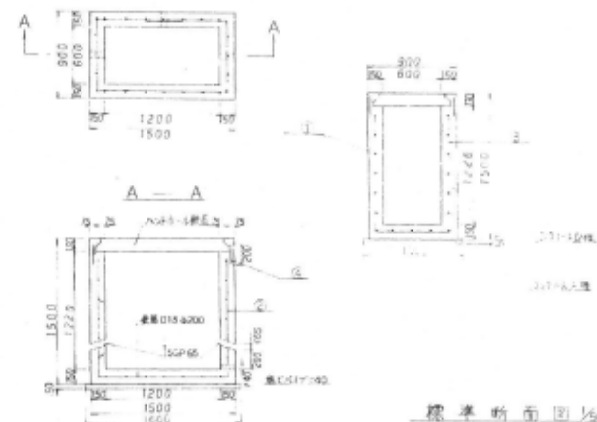
(参 考 图)

業 務 名	令和6年度 国営土地改良事業地区調査 南陸地区耐震対策検討その他業務		
図 面 名	特別高圧受変電設備(外形図)		
作成年月日			
縮 尺	図 示	図面番号	10
会 社 名			
事務(業)所	九州農政局南部九州土地改良調査管理事務所		

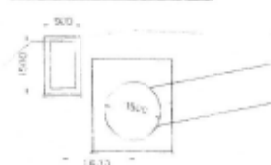
西部送水路サージタンク平面図



ハンドホール詳細図 1/20



標準断面図 1/500



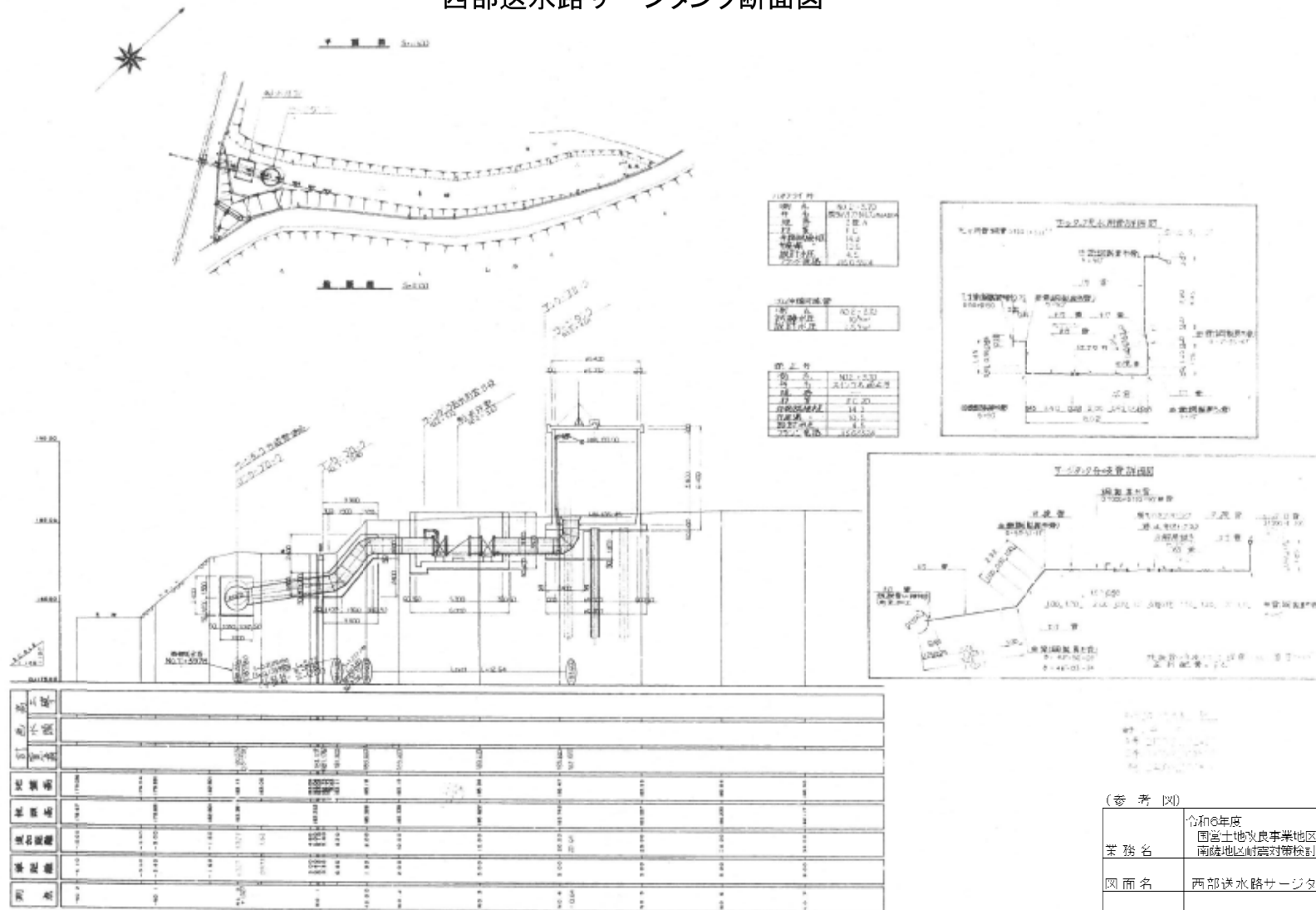
ネットフェンス 門扉 1/500



(参考図)

業務名	令和6年度 国営土地改良事業地区調査 南薩地区耐震対策検討その他業務		
図面名	西部送水路サージタンク(平面図)		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	11
会社名			
事務(業)所	九州農政局南部九州土地改良調査管理事務所		

西部送水路サージタンク断面図

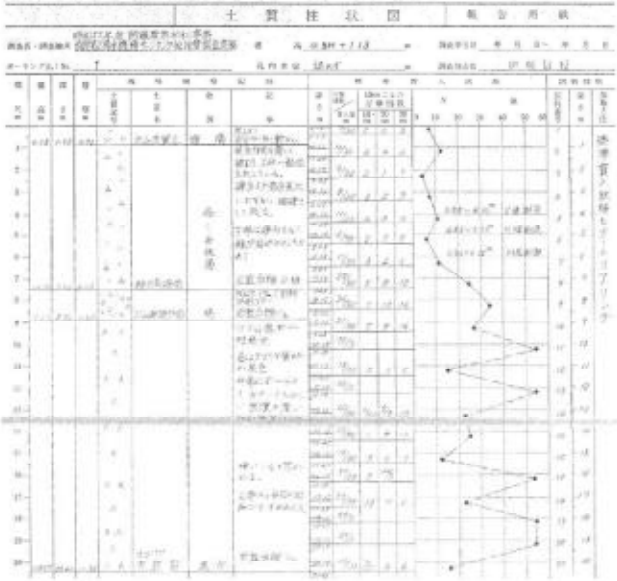
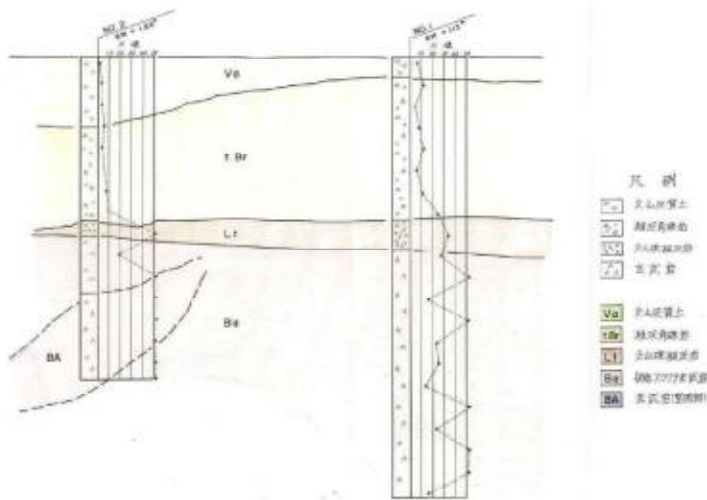


(参 考 文 献)

業 務 名	令和6年度 国営土地改良事業地区調査 南陸地区耐震対策検討その他業務		
図 面 名	西部水水路サージタンク関係図(断面図)		
作成年月日			
縮 尺	図 示	図面番号	12
会 社 名			
事務类(所)	九州農政局南部九州土地改良調査管理事務所		

西部送水路サージタンク 柱状図

1) ボーリングデータ No. 1



Bor. No.	土質区分	層 厚	土質区分	N値
		H (m)		N ₁
1	山成質土	6.90	粘性土質	7.0
	粘り角礫土	6.60	粘性土質	11.0
	火山噴出物	3.40	粘性土質	34.0
	玄武岩	11.50	粘性土質	32.7
	合計	20.40		

(参 考 図)

業 務 名	令和6年度 国営土地改良事業地区調査 南薩地区耐震対策検討その他業務
図 面 名	西部送水路サージタンク(柱状図)
作成年月日	
縮 尺	図 示 図面番号 13
会 社 名	
事務(業)所	九州農政局南部九州土地改良調査管理事務所